京城日報

（年中無休刊）

本紙定價 一部金參錢 … 廣告料 五號十四字詰一行一圓五拾錢 …

發行兼編輯人 奥田直 印刷人 小川三之介 發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社 電話番號 長六千九番 振替京城三〇〇

八月二十日夕刊（朝刊併せて八頁）

[illegible]

講和條約正文著

□□陸軍參事官の携帶せる對獨講和條約正文は十九日外務省に到着せるが右は佛外相ピション氏の署名ある謄寫本にして對獨講和本條約附屬議定書波蘭條約を含み三部あり何れも御批准後帝國政府に保管さるべきもの也又前記同様三種類の文書の外ライン條約文あり這は帝國としては無關係のものなれど參考の爲め送附せるもの也（東京特電）

ルクセンブルク暴動

ルクセンブルグに物價問題に關する暴徒蜂起し宮城及國會議事堂を襲撃せり（倫敦電報）

獨逸暴動再發

獨逸に勞働者の暴動再發せり（倫敦電報）

大詔煥發

十九日左の通り大詔煥發せられたり（東京特電）

詔書

朕夙ニ朝鮮ノ康寧ヲ以テ念ト爲シ其ノ民衆ヲ愛撫スルコト一視同仁朕カ臣民トシテ秋毫ノ差異アルコトナク各其ノ所ヲ得其ノ生ニ聊シ均シク休明ノ澤ヲ享ケシメムコトヲ期セリ今ヤ世局ノ進運ニ從ヒ總督府官制改革ノ必要ヲ認メ茲ニ之ヲ施行ス是從來ノ廟謨ニ基キ時ニ應シ宜ヲ制シ以テ施政ノ便ニ資シ治化ノ普及ヲ謀ルニ外ナラス方今歐洲ノ戰亂新ニ息ミ世態ノ變遷殊ニ激シ朕深ク茲ニ鑑ミル所アリ益民力ノ發達ニ努メ其ノ福利ヲ增進セシメムコトヲ念フ百官有司克ク朕カ意ヲ體シテ事ニ當リ德化ヲ宣布シ民衆ヲシテ各職ニ勵ミ業ヲ樂シミ永ク昇平ノ惠澤ニ浴シ共ニ邦家ノ隆運ヲ扶翼セシメムコトヲ勗メヨ

御名 御璽

大正八年八月十九日

內閣總理大臣 原敬

各省大臣 副署

北露政府解散

丸毛參事官巴里行

聯合軍北露撤退の結果北露政府の解散となり同地駐在各國使臣は何れも八月中に同地を引揚歸國の筈なるが我丸毛大使館參事官は同地より巴里に赴き講和事務に鞅掌する事となれり（東京特電）

爪哇排貨開始期

爪哇の日貨排斥は八月十五日を期して開始さるべく聲明されたり但日本人との商談は取消され郵船會社汽船は積荷皆無の狀況なりと（東京特電）

新官制と經費

警察費膨脹の爲め豫算編成替

新官制施行に伴ふ諸般の經費□□萬圓は總督府特別會計剩餘金中より八月より九年一月に至る分四百八十餘責任支出を以て支辨し九年二月三月分は來る議會に追加豫算として提出すことゝなるべし尚ほ總督府九年度特別會計豫算は既に舊官制の下に編成濟なるも新官制の結果警務費膨脹せる爲め更に新總督新總監の方針の下に編成替をなし十月頃大藏省に廻附する事となるべし（東京特電）

地方官の更迭は總督著任後施行

速急に行ひ難し

新官制の公布と共に新局長以下の顏觸れ決定したるが其の援擢任用の跡を見るに本府にては特に地方自治行政及び拓殖行政に經驗ある氣鋭俊秀の材能を擧げ立案經營の衝に當らしむべく一方各道知事は新に警察權を管掌して權限擴大し且つ今後の治績の如何は直に執行の任に當る地方官の手腕如何に俟つこと最も大なるを以て特に老練の士を選任する事となるべきが目下內地にては府縣會議員の選擧を目前に控へ此際大部に亘る地方官の異動を行ひ難き事情あり且つ現任各道地方官中にも多年鮮地の事情に通じたる有能の士尠からず旁道知事以下地方官の更迭は總督總監著任後充分の調査を經機會を見て斷行する事となるべしと（東京特電）

地方長官更迭

朝鮮總督府官制改正と共に內地地方長官中總督府局長に任命せらるべきものは既記の如くなるが右異動に伴ふ地方長官の補充は左の如く確定せり（東京特電）

朝鮮總督府學務局長 關屋貞三郎
靜岡縣知事
宮崎縣知事 堀內秀太郎
埼玉縣知事
長崎縣內務部長 廣瀨直幹
宮崎縣知事

宇佐美長官辭職

十九日左の通り辭令ありたり（東京特電）

朝鮮總督府內務部長官兼土木局長 宇佐美勝夫
依願免本官並兼官

東京金融通報

前週末に於ける東京組合銀行の帳尻は預金十六億三千六百五十九萬圓にして之を前々週末に比し二千九百十六萬四千圓を減じ又貸出しは十四億六千三百四十五萬圓を算し之を前々週末に比し二千三百萬圓を減少したり更に金銀有高は九千九百七十萬圓にして四千萬圓の增加なり尚ほ定期預金の減少は十六日に公債の拂込ありしためなるべく貸出しの減少は週間を通じ株界不況に因由すべしと（東京電報）

日本銀行帳尻

十八日の日本銀行帳尻は如左（東京電報）千圓

發行高	九六三、一〇〇
正貨準備	七五一、一〇〇
限外發行	一九一、九〇〇
貸出高	四二三、六〇〇

前長官少將通過

宇佐美前內務部長官は二十日朝釜山上陸十時急行にて北行歸城せり尚總督府附武官村田少將も同時に上陸歸城せり（釜山特電）

前總督寄附金

巡回文庫資金として

長谷川前總督より今回普通學校及び小學校職員修養の爲め巡回文庫資金として金三千圓寄贈ありたるを以て當局にては近く各道に夫々分配すべしと

制服廢止

九月一日から

改正官制の公布と共に現在の總督府親任勅任奏任判任の制服及び徽章は之を廢止する事となり九月一日より實施さる可し但し九月以降と雖も通常禮服を用ふ可き場合は便宜從前の制服を以て代用する事を得る事となれり

デュウ井博士の日本及支那觀（二）

經育にて エス、ケイ生

米國に於ける後藤男

爵の演說は電報に依つて其內容が報ぜられた、米國內に於ては此演說は日本の野心に對する不當なる疑問を洗ひ去るの効果があつたことは疑ひもない、然し支那に於ては此演說は日本の支那併呑計畫完成の宣言であるとせられ併呑作業の前兆たる秘密運動は既に始まつたのだと思はれてゐる、讀者はかゝることは果して事實か或は又此に關する余の報告は正確なりや否を疑ふであらう、其疑ひは當然のことである、余をして讀者と同じ地位に置かしめても余は矢張りそれ以上疑はざるを得ないであらう、然し乍ら斯の如き事件や

最近內田外相と石井

男間に行はれし會見などに依つて生ずる猜疑は畢竟日本は東西兩洋に對し二種の外交政策を行ひ西洋にて主張したる所は東洋にては全然反對に解すべきものであると云ふ信仰が支那一般に行はれてゐるやうに思はれる支那は秘密の國ではない、何事でも長く秘密が保てるものでないとは支那人の格言である、支那人は實行するよりも先づ語る、特に政治問題に於てさうである彼等は自國の缺陷をさらけ出すことに熟達してゐる

彼は理路整然

自國の弱點失敗を解剖する、彼等が主とする缺點の一つは彼等は積極的行動の代用物を發見せんとし、取返しつかぬと云ふやうな行爲をやり出すことは成るべく避けやうとすることである、彼等の自己批評其物が彼等の所謂代用物の一つではあるまいかとさへ危まれる、あらゆる點に於て支那は思ひ切つて名辯である、敵味方の間に絶えず交際が行はれる、反對黨の間には『莫逆の友』がある、仲裁の絶え間ない國では、いつでも仲直りの出來る道が開かれるやうにするのは當然でもあり且又必要でもある從つて日本でひそ〳〵話したことが支那では屋上から大聲で傳へられる、支那の勢力ある大臣連が日本の資金を

間斷なく受け

入れ斷くして歐米各國が戰爭に忙しかつた間に此腐敗官吏連は政治的經濟的の御讓を日本へ行つたのだと云ふやうなことを話すのは日本ではあまり良いことだと思はれない、然るに支那では誰もそんなことを否定しようとはしない、否時としては其事を論じ合つてゐる、心理學的に最も興味があるのは、かゝる事は何でもないことだとされてゐる事である、恰もひどく熱い日に熱いと云ふやうなものである（五月十八日）

檢疫施行發布

二十一日告示を以て大正八年八月九日發布告示二十六號を廢止し同時に平安北道新義州府、安東縣元化洞、九龍洞、龍川郡楊西面□野洞江岸に於て支那滿洲より來る旅客に對し檢疫を施行する旨を發布即日より施行さるべし右は對岸支那地の虎列拉流行狀況に依り平安北道鴨綠江岸數箇所に於て對岸より來る旅客に對し檢疫の必要あるのみならず尚今鮮內に流行の場合は旅客檢疫の目的地及び檢疫施行場所其他の變更の必要あるを以て之れが公布を見たる次第なりと

辭令

今回左の通り辭令ありたり

福岡縣技師兼防疫監督局技師 福本俊吉
任朝鮮總督府中央試驗所技師 敍高等官（五等）七級俸下賜
京城工業專門學校教授 曾根田又雄
兼任朝鮮總督府技師（七等）
京城工業專門學校教授 四 義一
總督府技師 曾根田又雄
總督府技師 兩義一
總督官房土木局營繕課勤務を命す 上內彥策
總督府試補を命す

鮮米增收策管見（上）

來年の米は何うするか

不二興業株式會社專務取締役 藤井寬太郎氏談

南京米が一石八十圓丈でも買つて買れるか買れぬか分らぬ、買つて買れても五百萬石の代金は實に四億圓、三年續けば十二億の正貨がフイになる、憫むべし日本の戰爭成金、一年分の外米代金四億あれば朝鮮の天水田百萬町步に完全なる水利が出來年に五百萬石の增收は千萬年の後迄も續く食糧問題乃ち米の問題は益々出でゝ

益々重大で

ある、本年度は五百萬石の外國米輸入に依りて何とか新米出廻り迄の喰つなぎは出來るであらうが從來年度は何うであらうか刻下の實狀よりすれば眞に寒心に堪へざる次第である、彼の不味い西貢米が一石八九十圓で無ければ買へぬ、是れも到底自由に買へるものではない種々の外交手段を容易ならぬ苦心が要るのである本年度の內地米作は只今の處先づ良好であるがまだ〳〵二百十日もあれば彼岸日和もあつて安心は出來ない假りに昨年度よりも豐作で五千八百萬石位取れたとしても朝鮮は

此大旱魃

で京城以北の減收は非常のものである今後ほ降雨無くば益々被害は擴大して恐るべき凶年となるかも知れぬが何れにしても最早年に比し二三百萬石の減收は免れぬから內地へ移出し得らるゝ餘力が絶無ならぬ迄も到底多數の移出を爲す事は困難である、故に內地が假りに五千八百萬石の豐收を得たとしても朝鮮米の移出減少を差引きすれば明年度も矢張五百萬石以上の外國米を輸入せねば到底我々日本人の食物は足らぬのである然るに其の外國米が前に言つた通り一石八九十圓もするばかりで振く買つて見れるか買れぬか分らぬとあつては實に不安心千萬と言はねばならぬ故に

我々國民は

今日より明年度の食糧品を何うするかと言ふ事を十分に研究して萬全の策に出で無ければならない、外米中で明年度は幾分の望みを囑する事の出來るのは支那米である支那は從來米の國外輸出を嚴禁して居るが爲めに本年の如き米不足の歲でも支那米は何の役にも立つて居らぬ（政府は支那米輸入に付多大な苦心をして居ることの事であるが）勿論支那とても每年米の過剩がある譯ではないが大國の事で南支那の米產額は多大の者であるから四五百萬石の米を日本に輸出せしめたからとて格別の不都合を生ずる程ではないから明年度は

是非安價

なる支那の米を輸入し得るやうに今より十分の計畫を立て政府は是非目的を達し得る丈けの交渉をせねばならぬ此外には既に一般に唱へらるゝ處ではあるが米以外の麥粉とか馬鈴薯とかを代用し都會人は少くも寒飯丈けは米を一切使用せぬ事にするがよい亦地方人は殆んど米を喰はぬ程度に麥、要糧穀を代用し米は悉く都會へ出すやうに今より訓練せねばならぬ然らざれば明年度の米は夫こそ大不足となり非常なる困難に陥るの外は無い、然し是れとも到底一時凌ぎの姑息策に過ぎぬ根本的には何うしても米の產額を增加せしむるより外に良策は無いのである

殖銀貯蓄利子

九月一日開始

朝鮮殖產銀行の貯蓄預金は來月一日より本支店同時に開始する事に決定目下頻りに準備中なるが預金は個人並に團體の二種に分ち個人の貯蓄預金利子は年四分八厘團體の分は年五分五厘を附すべく利子附加は預入が月の十五日以前なれば半月分を十六日以後ならば之れを附けざる事となるもの如し又當初は個人團體共に銀行より集金する策を執るべしとの意見もありしとの事なれど個人の分は當分集金をせず團體は集金の勞をとる由なるが一口十錢以上を受入るべしと

殖銀債券好況

殆んど賣切

朝鮮殖產銀行に於て來る二十五日より內鮮兩市場に賣出さんとする第二回債券一千萬圓は利率年七分の好利廻りなると二箇年据置き爾後五箇年間の償還と云ふ短期にて兎に角刻下の好放資物たるを失はざるにつき內地有力筋の應募少からず一口に二百萬圓の巨額を申込むものあり目下の狀況より推せば二十五日申込受附開始と同時に直ちに締切らざるべからざる模樣なれば在鮮應募希望者は二十五日直ちに申込まざれば券入手困難なるべしとの事なり

外國渡航狀況

京畿道警務部に於て下附せらるゝ外國渡航免狀下附狀況を聞くに從來は月平均約四十名內外あり右は重に鮮人なるが其行先地は多くは浦鹽西伯利方面にして渡航目的は殆んど商業なり而して米國上海方面は皆無には非ざるも二箇月に一人ありやなしの狀態なりと尚七月中に下附されたるは總數三十一件にして其內十一件は內地人なりと

連絡乘車券發賣

院線にては既報の如く二十日より東京下關間及び東京神戸間急行列車其他指定旅客列車の外一等車の連結を廢止することゝなりたるが異級連結乘車券の發賣方は左記に依るべしと

（一）院線內乘車賃金は同區間に對する劣等級の通算額に優等區間に對する優劣等の賃金差額を併算徵收す但し全乘車區間に對する優等級の通算賃金が右賃金より低廉なるときは之に依る

（二）連絡乘車は一等乘車券を使用し該券面に『何々間二等又は三等』と記入す

（三）無料手荷物の制限斤量は總て一等旅客の定量に依る

檢疫委員任命

左の通總督府□職員に對し十三日附命せり

財界閑話

朝鮮の大藏大臣乃ち財務局長は河內山會計課長の後任となつた▲豫算決算課長――司計課長と引續き久しく朝鮮の歲計事務に關與して功あり、又政府委員として中央にも名の通つた君は朝鮮新內閣員中最も好い籤を抽いてゐる▲三十九年の若手、內地には內閣書記官長の大出であるから前途代の原象一郎君、高橋貯金局長の天岡直嘉君その他一二の動作はあるけれど▲朝鮮の同期生たる和田鑛道部長、吉田鮮鐵局長、櫻井銀理事、吉松慶北第一部長等に比すれば何と云つても君が出世頭、只に今後は朝鮮に於ける財務を脊負つて立つと云ふ譯であるから、見樣によつては三十九年組の榮達の筆頭かも知れぬ▲人物は意志の强い、極めてしつかりした人であるが、いつか耳に腫物が生た時、惜げもなく切りすてたので今では一寸しか耳がもたぬ▲それに身に病氣ありて『ハナハナ』がわるくて困る『ハナハナ』など云ふ序である▲序に君は一年の半ば以上は東京出張の生活をしてゐたので、旅費の收納少なからず、本府では政務總監につぐ金包みとりたさうな

總督府警務署技師 原 親雄
總督府警務部長 鹽澤 義夫
總督府警視 寺島才二郎
總督府道慈惠醫院醫長 藤井 班象
總督府警視 小牟田十太郎
總督府警視 神崎 稼一
總督府警視 矢野 助誠
總督府警視 松元 鶴熊
總督府警視 鈴木 兵作
總督府道慈惠醫院醫官 塚田 孝輔
總督府警視 白井義三郎
總督府警視 奥野 保一
總督府警務部長 大橋 又三
總督府警視 幸坂九十九
總督府警視 徐 紀淳
總督府警視 細野 猶藏
總督府警務部長 藤田 耕一
總督府警視 脇野 義雄
總督府警視 安藤正次郎
總督府警視 齋藤 繩通
總督府道事務官 田中 直通
總督府道慈惠醫院醫長 原藤 孝一
總督府警視 園田 正雄
總督府警視 青田 竹花

檢疫委員を命ず

普通試驗終了

十八日より京城中學校講堂に於て施行中なりし普通試驗は豫定の如く廿日午後四時終了したるが不日成績を發表さるべしと

奥田少將視察

第四十旅團長の初度巡視は愈々二十三日步兵第七十九聯隊より開始し南方部隊は九月六日出發巡視すべしと又夫に先立ち地形偵察の爲め湖南線を視察すべしと

分遣隊衛生視察

朝鮮軍醫部長早川軍醫正は二十日午前十時より步兵第七十八聯隊附松山軍醫正同伴京城府各地に分散配置せる部隊を歷巡し衛生狀態を視察せり

殖產銀行張宴

朝鮮殖產銀行にては十九日夜千代本に京城新聞通信雜誌記者多數を招待張宴せり開宴に先立ち中村理事の挨拶に對し萩谷朝鮮新聞社長の謝辭あり主客交驩の後十時頃散會せり

人事消息

▲石原留吉氏（新義州府尹） 二十日朝入城不知火へ
▲多田榮吉氏（新義州木材會社社長） 同上
▲長澤紹代司氏（新義州三井木材主任） 同上
▲天日常次郎氏（朝鮮精米社長） 二十日朝釜山上陸十時急行にて北行歸城（釜山特電）
▲三島太郎氏（殖產銀行頭取） 病氣靜養のため來る二十二日午後七時五十分南大門驛發列車にて內地に向ふべし
▲高野省三氏（三井物產支店長） 二十二日午前十時發列車にて東上夫れより支那を經て九月下旬歸城の豫定

其の日その日

◇獨逸には前獨帝を利用して農民より多額の物品を詐取したる紳士あり。神聖視せられたる獨帝か、詐欺に使はるゝ滑稽なれど。戰後の獨逸人心變化の一斑を窺知するに足らむ。戰爭は決して敗るべきものに非ず。

◇有名無實の國際聯盟は、漸次馬脚を現はし來らむとし、英國の波斯保護、英秘の把持、觀じ來れば世界は更に新しき改造を要すべし。

◇西園寺侯は廿三日、雪月花の旅行より歸るさ、御老體お役目御苦勞千萬也。而し乍ら人種差別撤廢案の破れたるを云ふも、吾人は此の投ぜられたる小石が、意外に大なる波紋を描き出すべきに對し、敢て失敗と云はざる也。

◇旱魃地の農民救助は、刻下の急務也、其方法に於ては種々あらむ、今日は其可否を論ずべき場合に非ず、要は彼等の生活の安定を與ふるに在り。而して吾人は其政府と個人とを論ぜざる也。

◇小作法の不完全なる朝鮮に於て、地主に窮民救助を强要するには、或は不當となすやも知れざれど、吾人は此の論理癖や議論は後廻しとして、速かに救助法を講ぜん事を切望せざるを得ず、何となれば之れ朝鮮に於ける國家的の大事業なれば也。

▲軍隊拂下大安賣
茶褐外套、毛布、冬茶褐小倉服、アイボーシャツ袴下、冬絨紗服、ジャケツ、軍帽、靴下、雨合羽
右特別大安賣仕候間多少に不拘御用命願上候
龍山元町二丁目 川本衣服店 電話八五五番・振替口座二五六九

樂器と蓄音器は
京城本町一丁目（電氣會社前） 山葉樂器朝鮮代理店
發賣元 山口樂器店 振替京城五二一五番

雄辯 家成 演說講習錄
講師一流大家、科目心理、修辭學講習、增上膽力養成、身振り、表情抑揚引用、實料等演說の智識全部詳細
會費一ケ月七十五錢 詳細規則進呈 東京赤阪丹後町 日本青年通信社

解雇廣告
店員 北京改造
右之者本人ノ申出ニ依リ解雇仕候條自今當店ト一切關係無之候
大正八年八月二十日
京城南大門外 錦鏡商 德本京城支店

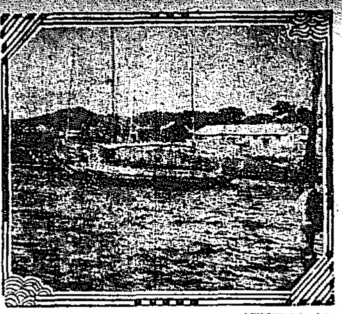
華 新 安樂稻扱 八年式
今期特約應募者へは大特典
圖入營業案內送呈 米製精機も 特賣中 〇大阪大正橋西詰 帝農社
作業子女にて安樂 高他店機の倍額 立證 代金は使用後

娯樂世界 九月號 探偵捕物腕くらべ
□長篇小說 十字の入墨（吊り篝火の卷） 江見水蔭
□或る事件の探偵 □檜物町五人殺し □滑稽御難の旅 □探偵捕物談 □嘉久子の梅蘭芳 □所謂公園役者
大懸賞 誰にも出來る賞品 勸業債券 貯蓄債券 萬年筆等 賞品莫大
□探偵秘錄 赤道おつね…… □探偵奇聞 嘉十郎の死…… □或る探偵奇聞 山奥の怪事件 □探偵奇談 目黒の首無屍體 □探偵奇談 八百屋殺し □探偵奇聞 向島の古屋敷 □奇聞 お杉殺し □捕物奇談 若旦那の死
□長篇小說 玉川御殿 前田曙山作
□長甲情話 身延の奇緣 情道軒圓玉演
□小說 お嘉代 □小說 仇浪 □小說 市兵衞の最期 □緣談中止 □榛名の捕物 □根岸肥前守 □古井戸の屍體 □遊女の行方 □缺けた前齒
□（大阪）慶正寺の尼殺し 旭堂南陵演
本號金四十五錢郵稅二錢 東京檜物町 娯樂世界社

●色澤鮮明●永世不變色
簿記用 上瓶入 萬年筆用 專用
プラトンインキ ナチュラルインキ
市内は御報次第御屆可致候
朝鮮總代理店 京城日報社代理部 電長六〇〇九番・振京城三〇〇番

東京三金の靴
ボックス革編上 ボックス革短靴 ボックス深ゴム
革見本寸法用紙付目錄進呈 御注文の節は靴の種類と足袋の文數通知あれば代金引換小包送料實費にて御送附申上候
東京市芝區愛宕下町 三金高等靴店 電話芝 六九〇 振替東京一七一二〇

オキシパサー
治病範圍 …… 說明書及實驗例に就て詳細は御申込次第送呈 ▼模造品續出に御注意▲
定價金參拾九圓 京城南山町二ノ七（電話六〇三番） 酒本高明商店



海上から見た群山

五道沿岸汽船行脚

隠れたる物語

怖ろしい珍島の瀬戸、一時間十浬の急潮、一歩誤れば遭難、有名な碧波亭、文祿役の古戦場、波多野三河守奮戦……

あはれ七十勇士

碧波亭下を過ぎつゝ　京　魚　生

潮時が丁度好いので直に右水營を拒て珍島の瀬戸にかゝる、此處は一名鳴洋灘と云つて、潮流の急な事實に矢の如く、古來急流を以て有名なる處である、瀬戸の入口は左右から低い山が海に落て、右舷の岬の上には白色の燈臺が立つ、入口の廣さ約半浬、干滿潮時の流速は十浬から七八浬である、だから大抵の船は

潮流に逆つて

進む事は出來ぬ潮に乗つて進むとすると、萬一舵を取り損ずると、船は忽ち顚覆か、衝突か何れ唯では濟まぬ危險な瀬戸である、だから潮時を殴つて此の瀬戸に乗ると、大抵は六時間を待つて潮時か、干潮時に通過せなければならぬ　今潮時が好いので順天丸は三浬の潮流に乗つて愉快に走せる、而して此の瀬戸を通過するには約二十分を要する、即ち八浬の速力と三浬の潮流に乗つて居るから十一浬の速力で走せて居る

之で二十分間

瀬戸の長さも大抵は判らう。瀬戸の入口から少しく川口にかゝつた右舷に松樹の茂つた島が見える、其の島の後方の陸地、此處は有名な碧波亭のあつた處だ。

×　×　×　×

時は慶應二年の秋、脇坂、相良、毛利、秋月、中川の諸將が兵船四百餘、段艦を率ゐて此處に迫つた時、李舜臣の奇策に陥つて悪戰苦鬪、殆んど

全滅の悲運に

陥つた處である　之れは有名な史實だから誰れも知つて居るのだらうが、此の歴史を思ふに付けても、茲に同情すべき勇士の最後の美談がある、處が一般世上に紹介せられて居ないのは殘念である、話は陸渡別途にそれるが、此の武士道的美談は是非聞て貰ひたい、而して讀者は英魂永くなへに此の海底に眠れる、勇士に對して、せめて一片の手向もしたいのである。碧波亭下から、珍島の瀬戸にかけて

李舜臣に撃破

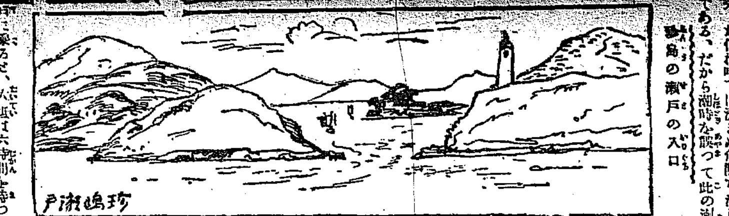
せられた支離滅裂の海軍は、散々な目にあつた、流石の指揮官脇坂中務大夫も、唯手を束ねて策の出る處がなかつた、この儘で行くと遂に全滅より他はないみじめな敗戰であつた。處が折柄早櫓を押し切つて來る十餘隻の兵船があつた、忽ち亂軍中へ突入し、縱横無盡の奮戰は、見る〳〵敵の氣勢を挫いて、勝ち誇つた敵の兵船も、漸次舳を返して退く者もある、此の

不意に現れた

奇ッ怪な兵船は更らに金鼓を鳴し銃丸を飛ばせて、左摩右突、縱々相擊し、宛然群羊を驅る猛虎の觀があつた。爲めに敗殘の我軍船は、虎口を脱れた者も多く、幸に全滅を免れた、此の應援隊の大將とも見ゆる勇士は、終始船頭に立ち大刀を翳して全軍を指揮して居た、其天晴れの武者振りには敵も味方も舌を捲かぬものはなかつた。此の勇士こそ誰あらう、肥前名護屋の領主波多野三河守である。さ丈けでは何の武士道的美談と云ふ程でもないが、三河守は戰役最初から從軍して居たが

武運拙く諸方

に轉戰しても功がなかつた、遂には秀吉から怯懦の士として譴責せられ、其食邑をも沒收せられて大將株を褫奪はれ、黑田長政の部下に屬する事となつた、で三河守は悲憤やる方なく、窃に其機を覗つて居ると、我が海軍が李舜臣の爲に大敗して居ると聞き、武士の面目を立つるのはこの時である、と一族郎黨七十餘人と共に、扱しこそ轡舸を飛ばせ來つて、我軍を九死の中から救つたので、而し乍ら七十餘人は悉く此奮戰で戰死して仕舞つた。



珍島瀬戸　珍島の瀬戸の入口

李王御親祭

李王殿下は二十日午前九時昌德宮御出門觀水橋通より黄金町を過ぎ奉謝苗宮に赴き同午後三時御還宮成たるが此日は恰も故李太王殿下の御誕辰日に當れる爲め獻禮を御親修相成たるなりと

鮮人留學生の母

平岡喜知子女史來る

向學會の目的と事業　内相始め朝野名士が顧問

中央新聞の宮崎さゆり女史も同行

新總督新政務總監の着任を迎へる以前に我京城は一風色彩の異なつた二人の珍客を迎へた夫は十九日午後七時三十分南大門驛着の列車で入城した

向學會主事

平岡大佐未亡人喜知子女史と中央新聞婦人記者宮崎さゆり女史の二人である、抑も同學會とは何か此珍容來鮮した目的は何？同學會とは遠く笈を負ひ海を渡りて遊學に來れる朝鮮或は支那印度等諸國の青少年や同じ國内に於ても地方より修學の爲めに都會に出づる者が適當なる慰藉や好箇の監督なきに基因して將來の

方向を誤り

餘弊計る可からざる害あるを憂へ專ら家庭的設備の中に起臥せしめ趣味ある規律の下に是等を善導し心身の修養を爲さしめ向學の志を達せしむる目的の下に成立せる會であつて事務所は東京京橋區五郎兵衛町二十番地に置き顧問には床次内相を初めとし犬養毅氏、田尻東京市長、頭山滿、尾崎行雄、同亮七郎、鎌田榮吉、高田早苗、平沼淑郎、杉山茂丸、井上角五郎諸氏、小村欣一侯、宗秩寮子爵など

朝野の名士

を網羅し主事は主唱者平岡女史之に任じ六月十九日床次内相官邸に於て其の發會式を擧げた公共事業なのであると向學會の目的は前述の如くであるが先づ事業の第一着の試みとしては家庭的寄宿舍を設立することにある由にて平岡夫人が今回渡鮮の目的は其主義主張の宣傳及び事業基金の募集にある、宮崎

さゆり女史

は床次内相の内命にて平岡女史の事業を應援すべく同行したのである

温い心で善導する

先づ最初は鮮人から　平岡女史車中で語る

『今度視察は鮮人を理解する爲』

平岡喜知子宮崎さゆり兩女史を出迎へると午後四時過ぎの西陽が赧く照り込む一室の右側に行儀克く腰掛けた兩女史

澁い好みの

扮裝に緩なし眼鏡をかけた平岡女史が松の様なら之は又牡丹の花か黒地に華麗な模様の紗の單コート姿のさゆり女史二人は宛然姉妹かと思はれる親しさで交々語られる平岡女史が先づ口を開いて日支親善、日鮮同化……口でばかり申して居りまして實行せねば何にもなりませぬ温かい心で相手の心を温かめて其間に

紙一枚の隔

てもなく眞の温かい心と心が接觸してこそ其處にまことの親善同化が表れるのではないかと思ひます私の事業は男子の方々が表面に立つてなされた事の裏附を婦人の力で致して見たいと思ひますので廣い意味の家庭的寄宿を設立して無籍に飢へ温情に渇した子弟の方々を及ばずながら善導し監督し婦人として生れた

責務の一端

を果したいと思ひますので先づ夫れには一番に新しき同胞の朝鮮及び我國と接觸の多い支那の學生子弟から着手したい考へで居りますするには先ず相手の性情慣習風俗人情其他の理解と穩健なる知識等が必要であらうとの御説が出まして今度の旅行は内相官邸で開かれた發會式の席上家庭的の指導をしたので成程と鮮滿

視察の途に

上りましたやうな譯で去月二十日に東京を出發致しましたが私は途中の各地は勿論汽車の中でも船の中でも此事業の傳導を致して參りましたので單に視察ばかりが目的でなく事業の基金をも募集致して居ります私は此事業を自分の畢生の事業と致し度いと思ひます』と眞摯な態度で語つ

李容九氏の遺忘兒

碩奎碩を收容　眞の母子の樣な仲

た宮崎女史は『平岡先生は眞個に事業に忠實な方で彼う在います御良人の大佐が

十六年前に

歿なられてから後女子高等師範の出身なので學習院の女學部に教鞭を執つて居られましたのを惜しげもなく擲つて此事業の爲めに一身を捧げられたのですから床次内相始め知名の方々もお力をお入れになるので先生は此事業を完ふしない間は死んでも死にきれないと夫れは〳〵

熱心に奮鬪

を續けて被在います今度朝鮮を主として視察せられるのも過般の騷擾以來殊更に御自分の信念を強めたのが動機です現在平岡先生は故一進會長李容九氏の一子李碩奎さん（二）を自宅にお世話致して居られますが碩奎さんは碩ちやん〳〵と

内地風に呼

ばれて最早母子のやうな仲でございます谷島愛次へ〳〵さんと兄妹のやうによく馴染んで居られます要之先生の目的は大勢の子弟を悟らいう風に眞實の温愛ある教育を施し人種的差別の撤廢をしたいお考なのです云々』と熱心に南大門迄語り續けた。因に兩女史は浦尾旅館に投宿四五日滯在の上大連へ直行の筈である

本社に來訪した珍客

（右）平岡喜知子女史　（左）宮崎さゆり女史

無線電信所開所式

（上）宇都宮軍司令官の祝辭朗讀（下）餘興見物の前列左より宇都宮軍司令官、右側李王職長官、淨土寺御陣長（圓形の中）工事を監督した石井小佐

無線電信所開所式

來賓は京龍官民百五十名

豫て龍山新練兵場西北高地に建設中なりし陸軍京城無線電信所は石井工兵少佐左田工兵大尉監督の下に此程完成したるを以て十九日午後七時より同所に於て盛大なる開所式を擧行せり先づ電柱には無數の小國旗を交叉せて百五十名の來賓は京龍重なる文武官民等合計百五十名なりき一時和氣靄々の裡に散會したるが南方高地涼風溢るゝ處には各種模擬店の設備あり宴會場は其の下の空地に設けられたるが白木の卓は雪白なるテーブルクロースを以て掩はれ酒肴は簡單なるも清爽愛すべきものあり開宴に先立ち構内を自由に觀覽せしめ一刻宇都宮軍司令官は祝辭を朗讀し次に來賓を代表し渡邊高等法院長は簡單にして徹底せる謝辭を述べたる後開宴引續き模擬店開始されたるが花月の枝雀多數斡旋し後石井少佐以下係員の無線電信に關する説明あり午後の一時和氣靄々裡に散會したるが

跡始末は蒼蠅いよ

慌しい空氣渦卷く中で　兒島警務總長語る

閣下は師團長でしやうと云へば『オット師團長は眞平々々』

過日來慌たゞしい空氣の裡にあつた警務總監部も愈々新官制の發布と共に何だか改まつた氣持ちで職員一同其處此處に椅子を集めて

卓を圍んで

何やら雜談に耽つて居る。兎に角明三日中には總監部の看板を取外して府内に警務局と云ふ新しい看板が掲げられ、職員にも可成の異動がある筈だから職員何れも『辭令が下るまでは正體が分らない』と他人事のやうに呟いて居る。總長室に兒島將軍を訪へば相變らず

快活な態度

で四方山の世間話にも事もなげに笑ひ興じ『何しろ忙しくつてね。いやはや跡仕末と云ふものは五月蠅いものだよ。ほんとうから云へば前田大佐が殘つて居て呉れねばならないところをお先きに失敬されちやつたんだから耐らない。我輩なんざァ頭痛鉢卷で夕方まで呻つてるのにさ』と

微笑を含み

乍ら愚痴して見せ、誰やらが『ごうせ閣下は師團長として……』なごと横槍を入れれば『オット師團長なんぞは更に御免だ、ナニ總監部は無くつても憲兵隊司令部は殘つて居る此儘此處に居るさ』と映笑一番し『此度の騷擾事件には隨分祟られちやつたね、イヤハヤ個人としての感情と職務としての

任務の板挾

みになる様な苦しい事柄に幾度も出會したよ。同じ人間でも寵[illegible]

機關車に股を切斷さる

線路を横切らんとして

十九日午後六時二十分南大門着列車の乘客全部が下車し終り機關車は第二本線から客車に入替はるべく蓬萊町踏切りに向つて徐行して居た時泥醉した男が通行を遮斷してある踏切りを横切らんとして機關車に觸れ右太股を切斷されたる騷ぎに驚官出張し被害者は直ちにセブランス病院に擔ぎ込んだが件の男は山梨縣南巨摩郡樅浦村番地現住所職業姓不詳富五郎といふ者で泥醉して右の仕末に及んだのであると云ふ

同情に値するものがあつたり、その爲めに寛大な措置を嘆願されたりしてね……。こころが法が許さぬこともあるしさ……』と眞に沁々と胸中の温かみを披瀝したりして葉卷を燻らし乍ら記者と談話を交へて居る裡にも總長は其類の檢閲などに幾度か席を立つて行つた。

小兒燒死す

光州の火事

去る十五日午前零時半頃全南光州西門通り石工職上田卯作方にて主人は他出して不在妻ふさが便所に起き出でたる長女千鶴子が頻りに泣き出したれば急ぎ寢間に戻り來る際敷居に躓き傍にありし洋燈を倒したるより火は直ちに蚊帳に燃え移り見る間に座敷一面火と化したればふさは長女千鶴子を抱へて戸外に出で火事よ〳〵と絶叫せり此の騷ぎに熟睡中なりし主人の妹さめ（一〇）は驚きて一旦戸外に逃れたるも家内には尚ほ長男光治（八）が睡眠中なるを思ひ出し十四の子供ながら既に我家を包める猛火を犯して再び家内にとつて返し辛くも光治を助け出したるが時既に光治は全身眞黑焦けとなり居たり一方出火と聞くや消防組及び軍隊出動して消火に努め遂に同家一軒を燒失せるのみにて午前三時鎭火せり大火傷を負へる光治は直ちに安田病院にて手當せるも午前五時半死亡せり（木浦）

生存者八名か

志自岐丸大捜索＝短艇一隻發見の外手掛無し＝海軍省發表

海軍省は十九日給油船志自岐沈沒に關し左の如く發表したり（東京電報）

十九日午前十時志自岐救援指揮官たる肥前艦長より吳鎭守府に達したる無線電信に依れば生存者は既報の八名以外に發見せず屍體二を收容したるが右は松本一等機關兵及び鹽田二等水兵なり而して肥前淺間春風及び水雷艇二隻の

捜索隊全部

は十九日の早朝種子ケ島及び屋久島右端の大捜索を開始せるが志自岐沈沒個所は是れを想像し得るも船體を認むることを得ず十八日より十九日正午迄に到著したる報告を綜合するに佐世保より派遣せられたる軍艦肥前は十八日午前種子ケ島東方に達し同島海岸を捜索したるも何等手掛りを得ず依つて大浦に假泊曉海捜索全艦春風も亦同行動を援助せり而して吳より特派せる軍艦淺間は十八日午前十一時半大浦の東北八浬の地點に於て志自岐丸用の

短艇一隻を

收容したるも短艇には何等遺留品なく僅に附近海面に浮游せる油に依り船の運命を想像するの外無かりき爾來海陸捜索隊の努力と地方官民の熱心なる盡力に依り生存者を收容するを得たりと

虎列拉

平南安州に眞正と決定

十九日平安南道安州に眞正虎疫患者發生の趣き今朝軍司令部に入電ありたり

洗つた野菜は販賣禁止

近來傳染病が流行するので警察では洗つた野菜の販賣を禁じてある萬一洗つた野菜を販賣する者を發見すれば罰するさうである又需要者は此際洗はない野菜を購求する方が病毒感染の虞がなくてよい。

藝妓の投身

去る十六日午後五時頃全南木浦榮町海岸を浮きつ沈みつ海水浴場の方へ流れ行く一人の女あり附近の者發見して急ぎ小舟を出し救ひ上げたるに遊廓三橋樓抱へ藝妓三筋こと判明し郷中大騷ぎとなり三橋樓に抱へ込んで水を吐かせるやら藥を呑ませるやら應急手當てを施し一命を取りたるが朋輩衆に藝の事より手酷しく叱責されしを苦に病みし結果也と

傳染病

▲太平通り一丁目二六番地藤崎茂一（一七）は赤痢チブスと確定し總督府病院へ▲櫻井町二丁目二二〇番遺山方櫻井カイ子（二二）は赤痢にて村上病院へ▲西大門町二丁目四七番地西田榮三郎（三三）は腸チブスに罹り總督府病院へ▲長沙洞一七八番地妙心寺内牧ミヨ（二〇）は腸チブスにて順化院へ右は何れも十九日診定隔離さる▲蛤洞一〇八番地中島信出（三）は二十日午前田中丸醫師の診斷の結果赤痢と確定し田中丸病院へ收容されたり

涼み淨瑠璃

龍山竹本組太夫のむつみ連は二十一日午後七時より南龍山あら玉樓に於て納涼淨瑠璃會を催す由語り物次の如し▲お染久松野崎村叶▲十種香笑暖▲日高川玉糸▲判官切腹志樂▲本藏屋敷石水▲三味線竹本組太夫野澤三造

本日温度（午後二時）

▽京城　攝氏九十二度（本社編輯局）
▽仁川　同　八十九度（本社支局）

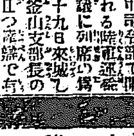
危險な鴨綠江沿岸

虎列拉の病毒流行す

龍岩浦にも新患者發生　國境防疫益嚴重を極む

二十日其筋に達したる状報に依れば安東縣舊市街の虎疫は其後益々猖獗を極め毎日多數の新患者を出だし居れるも患者發生家屋にては交通遮斷を虞れ密かに官憲に贈賄して隱蔽を計るもの尠からず支那官憲の防疫も頗る緩漫にして到底防止する能はず支那人は依然患者の吐瀉物を鴨綠江に捨つるを以て病毒は鴨綠江に漲り危險云はん方なく新義州虎疫患者の系統も安東舊市街より輸入したるものあれど鴨綠江に水泳したるものより傳播したる形勢あり是が爲め下流沿岸に傳播すべきを以て我官憲にては極力防疫に努めつゝあるも既に病毒は下流龍岩浦を襲ひ初發以來二名を出せり猶蔓延の兆あるを以て警戒中なり又龍州守備隊にては南滿洲瓦房店守備隊兵士に虎疫發生せるに鑑み極力之が防止に努め居れり

灯頭



▲軍司令部で開かれる晩餐會に列席の爲め十九日來城し釜山支部長の竹中佐は能辯で且つ洒落で有名なものだ▲釜山へ赴任した其の當時押し寄せ來る記者連を相手に沼々として二時間餘りも氣燄を吐き記者連を煙に捲いて了つたのはよいがツイ調子に乘過ぎて釜山禁物の築港の惡口を散々の利いた部下が各社へ電話で談話の取消を申込むと『ナニ御心配なく、書けと仰有つても書きませんから』は何方もドッチ振つて居る

仁川期米

廿日後場（更に強硬）

七八錢を摑合ひ団の賣物に七十五錢と新高値に伸したるも高値は鮮人筋の目先利喰ひにヂリ〳〵安の六十四錢と押し引値[illegible]

二十日後場	
寄付	四四、六五
止値	四四、六四
高値	四四、七五
安値	四四、六〇
一節	四四、七〇
[illegible]	四四、六八

連絡船上陸客

十七日午後入港對馬丸一二等客（一等十二名）栗金龍、栗金鳳、内堀き、宇治村叙、石川龜三、金鳴奕、外人[illegible]次郎、渡部進之助、坂口文夫、同半子、神津貞夫、渡邊龜萬、吉田銀一郎、堀越一基、伊賀重俊、畠中熊夫、岡久代、山添繁三、猪瀬鉞、馬場進英、同春子、同美智惠、組成龍、石立生三郎、福井[illegible]二等客（二十八名）大谷惣二郎、彭彼得、石龍鐵、陳光蔣、陳子元、土方絶七郎、朴本章、一色利惠、内村文彦、同龜子[illegible]友郎、眞鍋金也、水野正治、同喜代、同正忠、同正孝、吳錫鉉、祐燮、水野正幸、山路孫二郎、松岡順一、同みつ、永松新治、同ちさせ、箱田德司、岡田岩造[illegible]淸内三郎、福地文四郎、藤澤新次郎、牛場康昌、敷野辰治、濟水潤、磯部安一、郷多熊、岡松孫、和久井キヨ、中村九郎[illegible]淸太郎、美濃部清夫、李丹潤、堂本利一[illegible]治、大井留五郎、宿島菊、竹内正男、永屋昌雄、三等五百十[illegible]同玉應、同賢彦、去田貫治、村上孝造、竹藤房雄、同ハツエ、同保夫、小林麻殺、同榮次郎、同順三、泉衛三、岩瀨幸吉、久野貫太郎、同ウメ、同宗雄、同純子、同純治、田中辰、坂本與次郎、井下[illegible]

十八日午前入港高麗丸一二等客[illegible]

天氣

晴一時曇

（自二十日正午至二十一日正午）▽京城　氣温（攝氏）[illegible]

▽日出五時五十三分　▽日入七時二十[illegible]分

高瀬與[illegible]儀豫而病氣ノ處養生不相叶去二十六日午前二時死去候間此段謹告候也
追而[illegible]
大正八年八月二十日
妻　ム　メ
親族總代　松尾源助　井上善五郎　大久保文助
友人總代　島雄五郎　和田常吉　三田政治郎

佐藤ライト商會

急性、慢性　じんぞう炎　糖尿病水腫病
には佐藤の　すいくわ糖（とうすい）西瓜糖　のめばキツトきく
近時同名粗惡のにせ物を押賣し顧客を瞞着せんとする奸商あり御買求の節は必ず佐藤ライト商會製の西瓜糖と御指定を乞ふ
定價　金一圓一圓五十錢三円五円十円
全國到る處の有名藥店にあり

毛を黑く長くつやを出し　本椿香油　男女頭髪用　椿本ポマード
宮内省御内儀初め九條公爵家其他華族方御常用之榮を蒙る
赤毛くせ毛ぬけ毛析毛を防ぐ事妙
本舖　大阪西横堀　三宅堂

金牌受領

▲有効實驗ニ基キ確實ニ保證ス　マラリア特効藥
定價表金拾錢貳拾錢金四拾錢
販賣店各地有名藥店
本舖　京城本町一丁目　林藥房
代理店　京城本町一丁目　山岸天佑堂
代理店　釜山辨天町　大黑南海堂
代理店　平壤大和町　森田草藥堂

避暑地投票締切延期

可及的多方面と可及的投票の自由に考慮し各地方よりの希望を入れ投票締切本月十八日を二十五日迄延期す遠隔の地より郵便投票は廿五日の日附印ある者まで有効とす乞ふ奮つて投票あらん事を

京城日報社

第五版

奉天より 張使とその部下

○吉林督軍の轉任は遂に張使の勝利に歸し當の相手たりし孟恩遠氏は既に故山天津に歸臥し、鮑貴卿の跡を襲ひし高士儐氏は大連に亡命して近く日本に遊ばんとす、而して孟氏の過擧に際し特に張使に敵意を表する爲め奉天城内に一夜を明かせり、又高士儐氏大連より書をよせて他意なき旨を以てせる、共に張使としては敵意とする處なるが加ふるに鮑氏は吉林に張氏は黑龍に赴任し共に督軍の印綬を帶ぶ張氏の乾兒や親戚に賦からざるものあり、然るに高士儐氏の書翰に接したる張使は今尚ほ

窮鳥を逐ふの策

を取らんとするものか未だ是れ等長に訓令して彼れを得んとし且つ一般に警戒を嚴重にし以て乘ずるの明會なからしむべしと而して更に仄聞する處によれば近來張使の得意は殆ど頂點に達し時に慢心の態度に出づるなしとせず是れがため部下其の居に安んぜず只管張使の意を迎ふるに急なるものありと、又聞く第二十九師長呉俊陞氏は吉奉問題の最初より時期尚早を主張するのみて他を云はざりしが近來暇の臥に逢ひ喪に服し謹慎中なるもその眞意は後進孫氏の黑龍督軍となりしに快からず怏々として樂まずと又馬龍潭氏も孟氏との關係上張使より

妙な目付を以て

睨まれたる結果其の位置不安となり襲に呉師長か鄭家屯に赴ひ其の不幸を慰藉して歸奉するや間もなく極めて秘密の間に任地洮南城に引き揚げたるが爾來可成人を避けて前額の遂暗雲の低迷するものあると、其の他部下は殆んど悉く恰も餅の蝕に坐するが如く左顧右眄些かの落付きなく僅かに今日主義に逍遙せるの狀態にありと。吾人其の眞僞は知らずと雖も若し然らば張使の爲めに惜しまずんばあらざるなり。由來張使は猜疑の念に深く

殘忍の性に富む

と、是が爲め旭日昇天の勢ある今日と雖も張第一師長張第二十七師長等の兩三を除くの外眞の腹心の部下を有せずとは殆んど天下周知の事に屬す。是れ正に張使としては三省を要すべき點入定まつて天に勝つとは眞に今日の張使を云ふものか、其の盛んなるの時に於ては其の風を望み其の威に恐れ來り投ずるを辭せざるも一度其の威墜ち其の風衰へんか昨日の味方は今日と敵となり流石に誇りし張使の智謀も施すに餘地なきに至るや必せり。張使の智是れを知らざるにあらず而も尚ほ是れを施さずして慢心の態なり晴雨常なく時に

血を見て會心の

笑を洩らすなどは惜みても尚餘りある處なりとなす。歐亂一度終熄して極東の天地漸く多事ならんとす、而して中華民國は南北の和平大いに促進の色あり。徐段の提携成り長江沿岸三督軍又遂に徐總統の援助に吝ならざらんとす。民國の和平統一の機は動きつゝありと見るを至當とせんか、而して徐總統の地盤とし根幹とするは東三省を以て第一となす。是れに巡閲使として軍權を統一せる張使の位置や極めて重大なりとなす其の

一擧手一投足

直ちに惹いて民國の時局を左右すと云ふも過言にあらざるべし張使たるもの宜しく寛宏の德を養ひ部下の心服を謀り以て民國の時局を救ひ亞洲の平和を護るのみにあらず是れ單に人類の幸福を増進するのみにあらず惹いて張使一家の福利を盛大ならしむるの所以なればなり。張使以て如何となす

年五月後なるべし

新市街

當民團役所にては軍政署より事務の引繼ぎをうけし以來未だ一回も土地の測量を爲したる事なきを以て時に境界につき疑議を生ずることあり一昨年以來滿鐵に其測量を依頼せしに同社にても多忙のため今日迄延期し居たりしが第一兩日前より着手せり

ライター入港

當貨物取扱所に於ては入港船の増加するに從ひ曳船用のライターを必要とし大連埠頭事務所へ請求中の處昨日朝鮮丸に五十噸積のライターを廻送し來れり（營口）

諒解を促進せよ 歡迎も有難迷惑

奉天支局にて　一記者

近來春季より夏季秋季に亘り母國の資本家事業家商人乃至政治家教育家宗教家學生等の滿鮮視察旅行を企つる者尠からず而して其團體たると個人たるを問はず其の關係者縁故者は努めて之を歡待し居れり、併し乍ら遂に此弊は案内招待等の爲めに旅程日數の大部分を取られ眞の視察調査の目的を果さしめざるものすらあり

歡待招待案内固より可なり、されど是れが爲めに其の主たる目的を逸せしむるは正に遺憾なる事と云はざるべからず朝鮮の統治既に十年滿洲に勢力を扶植して是れ又十年此の日子決して短からず而して其間に出入せし政治家資本家事業家教育家宗教家等決して尠少ならずとせず然るに拘らず今日尚ほ滿鮮の事情母國に諒解せられざるの多き或は因を此の邊に存するもの尠からざるべし、細心の注意を拂ひ以て旅行者の眞の目的のある處を諒解し其の目的を達せしむべき也

土地の眞相諒解せざる結果種々の障碍を生せし例多く即ち現に奉天に本店を有せる某大會社の如き支那國民の性質を知らず制度を無視せる結果は事毎に中央資本家の壓迫となり曲解となり出しや振りとなりて遂に創業當時の社員は殆んど全部退社し今や其苦心の存せし處を知らず事の順序を辨ぜざる新社員を以て事業の衝に當りつゝあり

而して中央方面よりの社員は今尚依然たり吾人は舊社員の施設經營の方途悉く良好なりしと云ふにはあらざるも會社經營の上より見て斯くの如きは最も遺憾とする處なり是れが爲め向後續々起るべかりし新事業を阻止したる點尠なからざるを思ひ更に遺憾とす是れ等は只事の一端を叙するのみ

營口特信

電話數

營口の電話數は昨年迄は六百臺にありしが本年に至り激増し現在數八百六十名尚ほ二十名の申込みあるも既に外部線路は充實して此れ以上の架設は困難なるも應急として九百名位迄は差支なかるべし其以上の架設は絶對に困難なるを以て目下地下線に變更せんか他の方法をとらんかと考案中なり今春購入したる交換臺は既に充實して最早收容力なきを以て更に一臺を註文したれども到着は明

大袈裟に報ぜられし營口の虎列拉

營口の虎疫は最初の發生地たるを以ての故か頗る誇大に吹聽せられ居り爲めに滿洲に於ける虎疫の巣窟なるが如く思惟せられ甚しきに至りては毎日日本人のみの死亡二百人を下らず等種々噂されつゝあれども實際現在の有樣に於ては奉天、撫順、鞍山、大連等より遙に下位にあるが如し附近村落及び市中の支那人患者及び死亡數のごときは勿論確なる調査なきを以て知り難けれども日本人として發生以來八名にして中死亡者三名なり其中船より三名發生したるを以て是を差引けば市民は僅々五名にて死亡二名なり現在日本避病院に收容中の患者は日本人五名支那人三名計八名なり支那町に於ける患者も防疫其他の効により漸次終熄に近づきつゝあり（營口）

當てにならぬ 民國の電信局

大連郵便局の電報の宛てに成らぬ事は支那の郵便局と大差はない程度で出した電報や郵便物が果して先方に着するか着せないか殆ど譯が判らない勿論其内の大部分は受信人の手に這入るには違ひないが日本人の我々が從來信用して來た日本内地の郵便局のやうな確實な信用は置けない事は事實だ開函の時刻なども定まつては居るが御都合次第で早い時も遲い時もあつて時刻一杯に出す郵便物なぞは多くの場合に間に合はない停車場の郵便函などは汽車の發車五分前に開函することに略々決定して居ると云ふ事だが事實は誰も知つて居る通り定刻よりは大分早く開くから之れも時刻切詰めの投函信書は多くの場合取り殘されて居る又配達の粗末な事も一通りでなく一番地の間柄双方で間違つて投げ込まれた郵便の配達を仕合つて居る處では宴會の案内狀多數を一括して郵便所に預けて置いた處發送しなかつた爲お客樣は誰も來なかつた爲め宴會を延ばしたといふ話もある、郵便はまだいゝとして電報の間違ひなぞはかなりひどい事がある遲いのは止むを得ないと云つても遲さ加減に由つたものだある處に來た電報の如きも其の一例で誤配達を受けた處から今貴方宛の電報が自分の處に飛込んで居たから郵便局に返戻したと云ふ通知を受けたので恰度其日は重要の入電のある筈の日だから其の人は誤配達を受けた午前十時頃から午後二時頃まで首を長くして待つて居つたが來ないから郵便局に問合せて見ても判らず三時過ぎに成つてから其の電報が午後一時三十八分受信として來て居る多分其電報であらうそれでなければ先の誤配達の分は行方不明に成つて終つた譯だから前に受付時刻は誤配の通知があつて後の時刻だから發信局の受付時刻でなく誤配の返戻受付時刻から知れぬそれにしても遲いし其受付時刻と配達の時刻との間は又馬鹿に時間のかゝつたものだ一例を擧げても斯の通りだが而も郵便局では監視とか視察とか云ふやうな事は殆ど行つて居らぬらしい電話の方は更に酷い電話帳は大正六年の九月一日現在のまゝ二ケ年間も其儘に成つて居るし交換手は信號して早くても二分間位しなければ聲をかけぬしやつと話に絡ないかと思ふと違つた電話に絡なく斯んな譯で間が悪い時は三十分位かゝつても先方に取次がれぬ事は珍らしくない此れだ局長は通信夫や交換手の拂底や通信事務員の増給要請の色々の理由を述べて居るやうだが責任を果させる程度に監督指揮する必要はあらうこれからいくら立派な無線電信や海底線でもこんな風で中華民國郵政局に一寸毛の生えたやうなやり方では困つたものだ（大連）

避暑地投票用紙
道名　地名
京城日報社

神秘劇 神の娘 全八卷
八月十五日より公開
帝劇にて連日滿員の大好評を博せる『神秘劇神の娘』『蘇甲長五卷』上場
京日讀者優待券（一枚二人共通）
割引 壹等 半額四十錢……普通一等八十錢
貳等 半額二十錢……普通二等四十錢
京城 於喜樂館
京城日報社

商況

株式

東京現株 至急電報

銘柄	拂込	△印騰貴 △印下落 二十日中値
鮮銀	一〇〇・〇〇	▲二四九、〇〇
同新	五〇・〇〇	▲一九一、〇〇
京電	二〇・〇〇	▲六〇、五〇
東拓	四〇・〇〇	△一二二、〇〇
同新	一三・五〇	△七一、〇〇
殖銀	三〇・〇〇	八一、〇〇

東京株式 至急電報

銘柄	●二十日前場大引	前日比較
東株	二九四、二〇	三、七〇高
同新	二八五、九〇	三、〇〇高
滿鐵	一八五、九〇	一、九〇高
一新	一六〇、八〇	一、五〇高
二新	一二二、二〇	一、〇〇高

大阪株式 至急電報

銘柄	二十日前場寄附	十八日後場大引
大株	二八五、〇〇	……
同新	一八八、四〇	……
郵船	一七九、九〇	……
同新	一三六、三〇	……
商船	一八二、九〇	……
同新	一三七、九〇	……
鐘紡	……	……
同新	……	……
東紡	……	……
東糖	二五〇、〇〇	……
堂米	一五七、四〇	……
上取	四八、五〇	……

京城現株 標準値段

銘柄	拂込額	△印騰貴 △印下落 時價
仁取	三五・〇〇	△一六二、〇〇
殖銀	三〇・〇〇	△八一、〇〇
朝郵	一五・〇〇	四〇、〇〇
電興	一五・〇〇	二〇、〇〇
皮革	二〇・〇〇	二六、〇〇
東畜	一二・五〇	一五、〇〇
朝紡	一二・五〇	二七、〇〇
朝紙	二二・五〇	三四、〇〇
商銀	二五・〇〇	五八、〇〇
同新	一二・五〇	一六、五〇
滿毛	一二・五〇	三四、五〇
滿糖	一七・五〇	三三、六〇
鮮煙	二〇・〇〇	二七、〇〇
輕鐵	二五・〇〇	五八、〇〇
鮮土	一二・五〇	二一、八〇
東亞	一二・五〇	三五、五〇
仁倉	一二・五〇	一五、五〇

仁取氣弱し

仁取株は昨今の米高に加へて西北地方の旱害益々甚だしければ此の上如何なる相場を現はすやも計り難く然る上は目下世論の喧しき折柄なれば或は米價の公定値段を發表さるゝに至らずやとの懸念より前途を悲觀しての賣急ぎ物現はれたる爲め氣配頓に軟弱を呈し既に賣物は百六十圓ドタに叩かれんとする振合あり

公 現物 株式 賣買 坂倉株式店 仁川宮町 電話 三五五 信

東拓新株割當

東洋拓殖會社は五千萬圓に増資内定せる事は既報の如きが第二新株五十萬株を現在株四十萬株中政府の持株六萬株を控除し殘り卅四萬株に對し二株に三株の割當て殘餘の九萬株はプレミヤム附にて公募する由

ツルチユク株

今般木長商會より賣出しを開始したるツルチユク醸造株は沿線各地よりの照會多く殊に鮮人筋の買進みあるもの如く賣出し初日たる今朝既に百三十枚の商内を見たるがツルチユクなるものゝ實質が漸次鮮人に了解さるゝに從ひ買人氣も之れに伴ひ高潮を呈すべきか

東株増資問題

一時立ち消への姿となつて居た東株の増資問題は昨今又々各方面に頭を上げて來た取引物件の激増と財力の膨脹よりする其の理由は明白であるが只だ現制度のまゝ之れを増資して見た處でまた忽ち増資の必要に迫らるゝこととなるべく財力の膨脹取引物件の激増と相呼應してドコまで行つても底止する處を知らざるのみならず今日の不備缺陷が之れによつて補はれるといふ譯でもあるまいから政府も遽かに賛成するやうな事はあるまいと說く者もあつたが先づ第一に資本の増加を斷行せねばならぬとは其間の消息通の力說する處であつた政府も理由さへ明かになれば強いて反對はせぬとの說もあつた

本日の商内株

鮮銀二百八十七圓にて二十枚▲鮮銀新百四十六圓にて五十枚▲滿蒙三十五圓にて百枚▲仁取百六十一圓より百四十五圓五十錢迄八十枚▲殖銀八十圓より二十九圓五十錢迄三百枚▲電興二十圓十錢より七十錢迄三百枚▲滿蒙第二新百二十二圓にて三百枚▲鮮土二十一圓五十錢にて三百枚▲朝紡第二十四圓五十錢にて五十枚▲滿毛三十四圓にて五十枚▲紡織二十八圓にて百枚▲東亞三十五圓五十錢にて百五十枚▲ツルチユク七圓五十錢にて百三十枚

東亞新の強味

東亞煙草會社新株は東京の權利賣買値判明せざると聊か京城筋には割當數多なりしため氣味惡がりし足下を見ての投物にて賣らんとすれば挿込値をつくるため市中の出來値は區々なるも振はざるが聞く所によれば同社製煙の二割引上は既に內定し政府の了解を得たるにつき近く發表さるべく又明年より專賣制の實施する、朝鮮煙草專賣制の場合會社の受くる報償金は一千數百萬圓を下らず是は東京方面よりの確報なり更に今後英米トラストと對抗し支那西伯利亞の煙草戰に從ふには千萬圓の資金にては不足につき遠からず增資の期待もなし得らるゝらしく旁同社の內容と相待ち挿込後の新株は五十二三圓の値を現はし年內乃至は專賣報償金等の洩れ初むる頃は六十圓をぬくべしとの觀測當らずと雖も遠からざるべし

東拓行過ぎ說

最近著しく昻騰を示しつゝある東拓株は既に利廻り採算を上走り居れるが夫れすら目下の値頃は最早行過ぎの嫌ひあり舊百十圓で採算可能なるも夫れ以上は人氣に煽られたる値段なれば稍警戒を要すべく況んや先頃よりの旱害は東拓に取りて悲觀材料たるを失はざれば近く必ず一反落を演ずべしと玄人筋は觀測し居れり

北濱だより

大株增資の噂物に亞いで又機關銀行の設立案が現はれた▲果してドンな風に今後の相場に影響するかが見物だが一般に尚悔ごつて居る傾向の見ゆるだけ若しマトモに響くものとしても一渉りの買玉を消化してからの事だらうとの觀測も行はれる▲臺灣に散在する臺灣土地會社の所有地が坪十四五圓を唱へられ▲三十五圓拂込の株券が九十四五圓を保つて居ると云ふに至つては臺灣方面の好景氣が窺はれるデ臺灣銀行も一度增資をやらねばなるまいなどと一歸來者によつて語られる模樣では市場關係者の目の付け處も決して一局部であつてはならない▲生活難の喧囂たる折柄日活株が休日前から六七圓高、なり增資の鳴物が云爲せられる▲兎も角陰所でかうした形勢を現はして居るのは愈々前途を大に樂觀して宜いのか又は安心の極點か現はれて居るのか人樣々の見解があらう

米況

東京期米特電

●二十日前場
當限寄付　三十八圓十二錢
中限寄付　三十七圓七十八錢

●二十日前場

寄附	三七、三〇
高値	……
安値	……
止め	……

下關期米特電

二十日前場崎活況

	當限	中限	先限
寄付	……	三九、七四	三八、八四
高値	四〇、一八	三九、九九	三八、九五
安値	三九、七〇	三九、七四	三八、八五
止め	……	三九、九九	三八、九五

仁川期米

二十日前場（強硬）

▲第一節　今朝西風に幾分の冷氣を含み益々天候の快晴を現じ愈々買方の氣勢を刺戟したるも前日阪地の保合を移して人氣は殊ら立會は當中出來ざるが先四十四圓四十五錢と三丁安に寄付き四錢と辷りも押目は鮮人筋の買氣旺盛して四の買物に五十錢と盛返したるが因⑦の賣向ひに八錢と弛みしも買氣熾烈を極め遂に五十四錢と蹴上げ引始め先六十錢と⑪買りの⑦買ひより四四圓五十錢と當中出來ざるが中四十▲第二節　當出來ざるも⑦買ひより四圓五十五錢見當なるも更に高値は⑦因全克く賣りて五十六錢と押し八錢と少競ひに引▲第三節　當中出來不申先五十六十錢と跳ねたるが戻りは因全錢と押し六▲第四節　當中出來不申先五十四錢より鮮人買に六錢と縮まり七錢と至極閑散に引

中先賣米化せん

現在の買方は旱害を材料として飽迄押目を狙ひて煽り上げんとする趨勢なりと雖も其半面には鮮人筋の聯合買など噂され依然買氣を促進しつゝあり、戻りは圓有力正米師は手揃ひにて中先を賣り、◎全より五十錢臺の指値注文を發し仕手關係は正米師の買方に鮮人買の旗色鮮明となり取組高も此次第に增加を示しつゝあらんも既に割高は目先買方の勝となりと雖も米價は至つて値頃の賣方が正米師丈けに自然正米の歡心に化せんとする傾きある中先賣の噂あり

京城正米市場

既報の如く內地人側精米所は殆んど手控への狀態にあるも鮮人筋は天候賣の思惑益強烈にて今朝は買物殆んど姿を沒し氣配は昨午前中より又復一圓內外の突飛を演じ地揩並物四十三圓を唱へらるゝに至り眼先商那邊迄躍騰するや測り難き形勢を示せり

白米五十圓臺

白米は昨報事情の如き折柄今朝は更に原料市況の躍騰を受け市中卸値は遂に五十圓を拔き參十錢より二三十錢見當を唱ふるに至れり尚今日の原料採算よりすれば揚上げ五十一圓以上に當り眼先今一段の引上げは免かれ難く小賣値は今二十日より一錢方を引上げ五十一錢と爲したるも一兩日中には更に追值上げを見るに至らん

京城在庫穀物

本月十五日現在の京城在庫穀物高左の如し其內玄白米は昨報の通りにて其他主なる物の增減は粟の約五百袋大豆の千五百叺增加と小豆の千餘叺減少なり
▲玄米四七六六二叺▲白米六四八叺▲籾四五三四叺▲大豆一四〇八七叺▲小豆一八九三叺▲粟一二九一〇一叺▲大麥二三六七二九一叺▲小麥六四五一叺▲荏子一九一叺▲胡麻二九〇八九叺▲雜穀一五八三三叺▲綠豆三〇

驛發著穀物

八月一日より同十五日に至る大門驛發著穀物左の通りなり到著の分▲玄米一〇〇四噸▲籾五九噸▲麥三五一噸▲小麥一四噸大豆一六噸▲粟八五一噸▲小豆二二噸▲雜穀八七噸發送の分▲玄米二八二噸▲白米五四五噸▲籾一七〇噸▲粟一八二〇噸▲大豆三九〇噸▲小豆三八噸▲裸麥五噸▲麥一九噸▲麩一三七噸▲胡麻三八噸▲麴二噸▲高粱二六噸

仁川正米市場

此の頃の正米市場は好く考へたと見へて定期は旱害の人氣で百丁以上も上値を買突張り押目は買ふへと云ふ强硬の人氣を移して

市場雜觀

內地は豐作氣搆への理想一圓の買居に二十七圓八十錢臺に焦げ付いて居る當市場は凶作氣搆へに四十四圓九十錢ど六百七十丁もの上鞘を頑張つて居るが內地は賣方が玄人で仁川は買方が玄人筋であるか仁川から鞘を縮少するかの大問題に移るのである現在の成行きでは鞘の擴大される傾向はあつても縮少する事は目先望まれ難く其れこそ旱魃熱に浮されて現在買方の頭を冷し切る位の雨でも降れば割高を買突張りの居るも二丁位の鞘寄せは仁川からするであらうが今度は觀測所の警報や空の雨曇り位いでは買方に取引所の舞臺を乘り取られる樣な傾向はやらぬと買方が非常に勝に乘じて氣焔を吐くのでパリで金腕と手際へされて居るから自然相場も金腕と下溢り昨後場は殆んど焦付相場に陥を狙つては何かの動機に煽り上げんとして居る去れば此の調子では群集心理が表現せねば今の買屋も腰を入れて賣らないと云て居るので或は出現するかも分らんが天井を賣りて底値を買ふ云ふ事は神樣でも出來難なる話だから一番此邊から雖平に賣昇りて見ろと群山の森菊や鎭南浦の荒井氏は因店より克く賣主いで居る其他釜山、群山、鎭南浦筋の有力なる正米師は⑦⑤から賣進みて來るので取組も弗々五萬と近くに增加されて來た斯ふなると相場に興味されて來た斯ふなると相場に興味が多くないので務に乘じて高値を頑張る丈一夜の夢に根本が弛るめば旨目當の買方成金も追證の攻め殺しに會ひ影も形も見へぬようにならうちの用心が肝要く

仁川米豆取引所仲買人 內海仲買店 電話長六二一五・六二貳 略號〇ウ又ハ「ウ」

二十日場

	寄付	比較
前高値	四五、四五	
安値	四四、五〇	
一節	四四、六四	
二節	四四、四〇	
三節	四四、六〇	
四節	四四、五一	
五節	四四、五一	

◇公定相場
◇出來高　十五萬七千七百石
◇帳入値段　當限四十四圓五十錢　中限四十四圓五十錢　先限四十四圓五十錢

多少ニ不拘御注文被下度確實迅速ニ取扱可申候
下關米取引所仲買 𣳾 桝谷米市
御下關第一銀行住友銀行支店ニ又ハ百十銀行ヘ御問合チ乞フ

釜山正米市場

內地方面よりの買注文無き爲め市況弱含みにて一二十錢安三等神力四十三圓四五十錢を唱へ三千叺許り出來したり大京那々買手現はれ氣配手堅く京釜物十八圓より十八圓二十錢京城物十八圓五十錢見當にて目先尚幾分强含みなり（二十日釜山特電）

支那粟依然續騰

支那粟は頭上の快晴に思惑者の熱狂益々甚しく人氣は頻が上に更に突走りては海城現物は昨朝來一圓方の躍進を示し午前中の唱へ二十三圓を唱へられたり

麥粉再び六圓臺

內地製粉不勢を傳ふるも上海粉の强硬に加はへ滿洲粉又頗る强く現物は殆ど賣止め同樣の方針を取り自然高氣配の折柄鮮商は

綿布次第弱り

綿布は米穀類に對する旱魃思惑の加はれば加ふる程反對に前途の悲觀を高め各戶口共警戒怠らざる爲め市中賣物多きに拘はらず買人の見送りにより商内頗る不振を極め居れり市況として此際人氣のドカ落ちせる丈け比較的底堅しと言へば三エー現物は四百八十四圓迄の賣行はれ先物は二十三圓見當にて殆んど無商內にて等しき現況を呈し日々次第弱りの成行きにあり

洋釘五十錢高

金物界の好況時代に當り製釘業の步を進めし内地製鋲所も休戰後鐵價の暴落影響を受け採算不引合ひの結果に漸次之が製造を中止するの餘儀なきに至れり爾來內地製釘は殆ど安田岸本二工所の獨占舞臺に歸し而かも兩工場は海外の輸出好況によりて前約注文の製造に追はれ昨今內地向供給に乏しき折柄米國品は既約品の少なからざるに拘はらず本國に於ける勞働問題の餘波と船腹關係等にて輸入の大遲延を來し茲內外品を通じ在荷の減退より々甚しきが如く市場の人氣は勢ひ之に刺戟せられて次第に硬化の色あり市中相場は三吋の二十四圓見當にて各種約五十錢方の昻騰を示せるが眼先成行きは輸入遲速の一點にあれば今日の硬化も單に一時的に終るや測り難し

清酒値上決定

清酒値上げの內定は既報の如くにて京城酒商組合に於ては當時今二十日より引上げを實行すべき答なりし處協議の結果は來る九月一日より前內定通り大甕二斗入一圓半樽及瓶詰各一圓小賣一升付五錢方を引上げ來る九月一日より之を實行する事に決せり

魚釣具 投網 卸 小賣 京城本町貳丁目 吉備商會 電話三四一番 振替京城三八番（初小賣共御申越次第定價表送呈）浦鹽用カスミ網各種あり

優等清酒 一盛 本莊酒店 京城明治町二丁目 電話六五四番 仁川京町 本莊支店 電話二一六番 安東縣大和橋通 本莊支店 電話二一七番

森病院 內科 小兒科 入院隨意 醫學士 森定吉 京城明治町二丁目江戶川通（電話六三三番）

有價證券現物問屋 株式會社野村商店代理店 田中友吉商店 仁川支店 ◆當店は有價證券現物賣買に依る御貨殖の確實なる機關として誠實と勉勵とを信條とし明敏なる御觀察に誤り無き當店を御利用御用命あらん事を ○株式日報御申込次第呈上 京城本町二丁目 仁川本町一丁目 電話七二六番

眼科專門 金井眼科醫院 京城若草町（黃金町通り十一番地 新道路中程）電話一五五六 入院隨意 日曜祭日午前中

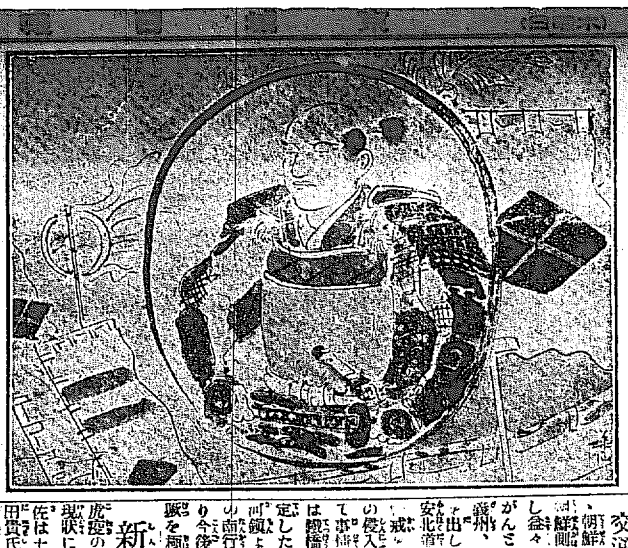
色黑くなる時は今！ 日焼する時は今！ 一滴で…これを防ぐ 美乳の力 夏の日光は美容の大敵！ 御用心遊ばせ色黑くなる時は今です御注意遊ばせ日焼する時は今です、さいつて必ずしも御心配になる事はありません日本に初めて出來た評判の美乳を常用してゐらつしやれば海水浴にお入來になりましても其けましても例へば生地から色を白くする力、皮膚を美しくする力は克く夏の日光の紫外線を撃退して日焼を完全に防ぐことが出來ますそれですから近來は如何なる階級如何なる御年齡の婦人でも必ず美乳をお用ひです…… 本舖 大阪日本橋本店 矢野芳香園

日本名刀傳 百卅七

東京 田邊南龍講演

堀川の國廣(九)

是れより武田上杉の兩家が天文十八、十九、二十、廿一、二十三の年々百姓の田植時を除いて、双方共川中島へ出張つて戰ひをしたがどうも勝負が付かない、其中に改元あつて弘治元年となり三年となつて足利將軍の御仲裁で一時和談になりました、所が又々和談が破れて戰ひとなりました、所が謙信は勅命を蒙つて上洛することゝなり、信玄と休戰をして都に上りましたことは前にも申し上た通りであります、然るに越後春日山から使宇佐美駿河守京に馳來つて注進しますには、信玄休戰の約を破つて僞の口實を設けて謙信の留守を覘つて關川の番所を破り、上杉の領分に兵を入れ、甲州の大軍將に越後に攻め入らんとするとのことでありました、謙信大いに怒つて直ちに都を發足して越後に向つて歸りました其時國廣も約束の如く謙信の客分となつて荒小姓梁金上野介、鷲野五郎丸、鷲野吉代丸、唐崎左馬之介、栗金孫左衛門、三本寺宮千代丸の面々の組に入れられたので、悦び勇んで師匠重信にも暇を貰て京を出發した、謙信は我れ甲斐の晴信と爭ふこと九年に及び兵を出すこと兩度になるけれども今日迄未だ勝負を決することが出來ぬとは心外千萬である恨み重なる彼れ晴信、此の度の合戰には是非とも彼と雌雄を決し、晴信の首を取るか我が首を授くるか最後の一戰を試みんと萬丈の氣焔を吐いて越後を指して歸つて來た、一時謙信が信玄と堅く和談の約を結んで安心して京へ上つたのにどうして信玄の方から約を破つて謙信の留守中に越後の國境へ攻寄せたかと云ふに事の起因はもと越後の家來であつた毛利十左衛門の悴新藏なるものが越後に背いて甲州武田の浪人組へ這入つた所が偶々越後の春日山の城下に父の墓參に往かんと關ヶ嶽の間道を通行した時辻六郎兵衛と云ふ者に見現はされ、越後の家來でありながら甲州へ往つたとは不埒千萬だとあつて新藏は討たれてしまつた、之れを甲州の高坂彈正の家來春日彦太夫が聞いて關川番所へ來て掛合つたが、言葉の間違ひから斬合となつて春日は命を落した、之れが原因になつて信玄は越後春日山城の留主を勤める宇佐美駿河守に何の掛合も無く忽ち兵を越後境へ向けた、夫故謙信も都を引上げて今度は信玄と是非共決戰しやうと考案したる神傳流車懸りの陣法、龍頭の備へが九段、龍尾の備へが九段、九々八十一段の備へ、時は永祿四年八月十四日總勢三萬三千餘人と云ふ大軍を催し、中二萬人は春日城に留め宇佐美駿河、直江山城、甘粕近江柿崎和泉等に精兵三千を授けて出發させ、第二陣には鬼小島彌太郎、新津丹後、新發田尾張等に三千人さて又飯森猛津、毛利上總等に三千人、を率ゐて後陣を固めさせ、總大將の謙信は本營五百人を左右に引具し春日城を出陣し、謙信の本營は千曲川の東岸に沿ふて大室に陣を布いて、敵方たる海津城の動靜を窺つたが、既に軍を進めて倶可峠を打越へ、小稻澤、鰐淵を過り、唯越を越て、蒲野原に出で、廿三日妻女山に陣を占めた、甘粕近江の守は小荷駄掛りとして善光寺から川中島を經て妻女山に到著した先鋒直江山城は澤橋に、宇佐美駿河は山岩野の十二河原に柿崎和泉は吉窪崎に、甘粕近江は月長年に陣し、總大將の謙信は妻女山の頂に本陣を構へて、馬を妻女山の頂に立つるや、合圖の狼煙はドーンと秋の空に轟き渡つた、威勢破竹の如く殺氣は凜々として川中島の天地を罩めた、此時堀川の國廣は、客分として宇佐美駿河守の手に屬し、自身の鍛ねたる三尺七寸の太刀を横たへ、勇氣凜々として性來備はる怪力を現はして大いに手柄を現はさんと、戰ひの開けるのを今や遲しと待つて居る。



安東縣と虎疫(續)

交通遮斷 鴨綠江を隔てゝ朝鮮と滿洲と相隣接するを以て、鮮側に於ては國境防疫を嚴にし益々南下せんとする病毒を防がんとせしも何時しか義州、新義州、龍川郡等に約七名の患者を出したるを以て總督府及び平安北道廳新義州當事者は大いに之れを戒嚴にするも滔々たる病毒の侵入は如何ともなし難きを以て事情萬已むを得ざるもの、外は鐵橋の交通を遮斷する事に決定したりと同時に安東驛及び沙河鎭より乘車する朝鮮人支那人の南行乘車券の發賣を停止したり今後安東地方の病勢は益々猖獗を極むべし(安東驛)

新義州防疫

虎疫の蔓延益々猖獗を極むるの現狀に鑑み平安北道警務部長松倉少佐は十四日夜道衛生主任警部前田貫氏を隨へ新義州に來り道事務官三木進一郎氏は片倉書記を隨へ十四日新義州に來り警務總監部衛生課長警視坂東秀雄氏同憲兵大尉宮崎稻作氏と共に新義州に來り防疫事務に關し協議會を開きたり(新義州)

八月廿二日

(舊)七月廿七日 金曜日 ひのへうま ▲三碧 暗劍東 ▲先負 ▲ひらく ▲牛

▼三碧▲熱慮斷行を要すべき日
▼四綠▲何か嬉しきことのある日にして何事に用ゐても吉なり
▼五黄▲運勢の旺なる日にて何ごとも正しく進まば成功すべし
▼六白▲誠實なれば萬事に吉也
▼七赤▲愼みて事すべき日なり
▼八白▲融和の日例令氣の進まぬ事ありとも爲さば成功すべし
▼九紫▲福德に邂逅りあふ日なり心に弛みあらば福運を逸せん
▼一白▲忙々しき日にて萬事意の儘に行けど金錢上注意すべし
▼二黑▲つまらぬ日の際なれど誠實に任事を爲さば効果あらん

演藝案内

本町二丁目 電一〇五〇 **壽館**
廿一日より開演 浪界覇者 桃中軒秀右衛門一行
初日午後七時開演
▲切られ與三郎 桃中軒秀松
▲寛永武勇傳 京山若丸
▲義理と人情 桃中軒秀久
▲因果美人 旭伯龍
▲天野屋利兵衛
▲水戸黄門記 秀右衛門

櫻井町 電話八七三 **大正館**
日本活動寫眞會社代理店
●當る八月十五日より大提供
◎寫眞 涼氷試驗
◎米國ユニバーサル會社特作 長尺 ニコ〳〵活劇 弱い山賊 長尺
◎米國ラスキー會社大傑作 冒險奇談 魔城の寶 全五巻 ▲原名 幽靈退治
◎泰西劇 戰國時代の雄大なる寫眞劇 松之助一派出演 『魚屋宗五郎』 四巻
江戸生粹の魚屋宗五郎は…
◎毎月一日十五日を大祭日に晝夜開演

京城明治町 電話二六〇 **浪花館**
京阪落語桂都雀一行 當る十六日より毎日後七時開演
▲落語 桂都之助 ▲落語 三遊亭花女 ▲落語と歌舞 ▲人情噺 桂五良 ▲落語と音曲 桂都太郎 ▲長唄 桂五八 ▲落語と音曲 ▲人情噺 ▲落語 ▲大切 三遊亭…

京城本町 電話五七八 **壽座**
當る八月十九日より毎夜五時開場
新派好美團一行
第二回替藝題 毎夜五時開場

星月夜 五場

本町一丁目 有樂 電話九七番 舘收 **喜樂館**
當る八月十五日より特別大興行
日活會社本年度新規撮影 尾上松之助中村扇太郎合同劇
▲實説 赤穗浪士 凸坊大の卷
舊劇 **業平長五郎** 五卷
天然色 フォックス會社特作大難篇 **神の娘** 全八卷
水泳の達人アンチッケルマン出演 世界の女王
…

本町五丁目 電二一三八番 **文樂座**
今回喜劇スズメ會一行男女優を招き當る十八日内地より乘込み十九日初日開演…
一 笑劇 はじしらず 三場
二 新喜劇 兄妹思ひ 一場
三 舊喜劇 黄金行き 二場
四 社會劇 元のさや 三場
開演午後六時 藝題毎日替り 入場料 一等六拾錢 二等四拾錢 三等貳拾錢

開祖東洋第一番の本校卒業生は
自動車
運轉手技術販賣員 部會と海外 活動す甲種運手養成月卒業 毎月授業開始 他技師科設計科 及成功責任校外生募集校則送與
東京 東京自動車學校 大阪自動車學校
大阪市中島町 福岡自動車講習所

下痢と腹痛に 健胃固腸丸

下痢病と腹痛には效力速にして最も偉大なり
常に本劑を用ゆれば消化を助け腸胃を強健にし恐ろしき流行病、惡疫に罹る憂なし
◎夏の家庭と旅行には必ず御用意あれ
定價(拾錢、廿錢、五拾錢、壹圓、參圓、五圓)
本舖 大阪 東京 谷回春堂
各地藥店に販賣す 商標と名義に御注意
登錄 商標

幾萬のパラソルよりも僅か一滴のホーカー液

日ヤケ―

夏の日ヤケは洋傘では防げません

夏の強い日射ではパラソルを用ゐても、手袋を用ゐても知らぬ間に、黒くヤケてお顔やお手の甲が汚い樣になります、つまり夏の日ヤケはパラソルや手袋では防がれないのです、所がホーカー液の一滴さへあれば日ヤケは完全に防ぐことが出來ます。

家庭化粧料

ホーカー液

日本一の日ヤケ止め―色白く美人となる

御家族樣誰人にも必要

唯一の夏向家庭お化粧料

ホーカー液は既に家庭の日用品として非常な需要で御座いますが特に夏の御家庭にはその必要が多く、毎度春に倍した賣行を示すのが例になつて居ります、何ういふわけで夏の需要が多いかまだ御存じのない方があらば一瓶をお試しあれ直ぐ判ります

特色
□色を薄紅白くキメを細かにす
□夏の日ヤケ、汐ヤケ等を防ぐ
□化粧下にして白粉崩れを防ぐ
□海水浴、旅行、湯上りによし
□イヤなアセモにはコレが一等

▼全國到る處の小間物化粧品店洋品店藥店等に販賣す 若し品切の節は本舖へ直接振替か切手にて御注文を乞ふ
小二十錢、中四十錢、大八十錢 送料 內地六錢

=姉妹化粧料=
男女兩用 天性の白さを表す ホーカーパット はやり下非常な賣行です

ホーカー液 ホーカー白粉 ホーカー美髪液 ホーカーパット
東京神田和泉橋際 本舖 堀越嘉太郎商店
電話神田 長特 四四三 四四五 一五六 振替東京

日本郵船仁川出帆

天津行 …丸 八月 日正午出帆
…丸 八月 日正午出帆
相模丸 八月 日正午出帆
郵船會社ヨリ乘客ハ…ルアルベシ
仁川海岸町一丁目 電話十番 堀回漕店

五光商會汽船出帆廣告

◎元山、西湖、城津、清津行 第三長春丸 八月 日釜山發 八月 日元山發
◎門司、宇品、神戶、大阪行 第三長春丸 八月 日元山發 八月 日釜山發
元山 大池回漕部 電話二三 釜山 同 回漕店

大阪商船出帆

(仁川出帆)
鎭南浦大阪行 △沖繩丸 八月廿三日正午出
部山、大阪行 ×安東丸 八月廿二日正午出
(元山出帆)
清津行 宮島丸 八月廿三日後十二時
釜山、門司、宇品、神戶、大阪行 安平丸 八月廿二日後九時出
(大連出帆)
上海、芝罘、打狗行 湖北丸 八月卅一日前六時出
基隆丸 八月 日前六時出
內地各港出帆ト要ス抗路
歐洲行一年四回 北米行毎月一回
南米行一年四回 孟買行毎月一回
濠洲行毎月一回 南洋行毎月一回
御注意 外國航路切符御發賣…
大阪商船株式會社仁川支店 電話二二番 二一〇番 五五〇番

朝鮮郵船出帆

京城 內國通運會社支店 電話七〇八番
仁川 京城通り 旅館 電話二六一番
寺崎仲次 仁川本町 慶田組 電話四二二番
仁川港町 池田支店 電話二二七番
切符取扱所
大阪船積等の爲め發著日時變更する場合有之候に付詳細は本社又は各地支店出張所代理店へ御照會被下度候
▲敦賀行 浦項、城津、元山經由
平安丸 八月廿三日 清津發
八月廿六日 元山發
▲浦汐行 大阪、門司、釜山、元山、城津、浦汐經由
越後丸 八月廿七日 釜山發
八月廿九日 元山發
▲雄基行 關門發釜山各港經由
京畿丸 八月廿九日 釜山發
九月一日 元山發
雄基丸 九月三日 釜山發
九月六日 元山發
▲元山雄基線 元山起點各港經由 雄基間往復
鏡城丸 八月三十日 元山發
▲大阪行 浦項、浦津、城津、元山、釜山、關門、神戶經由
越後丸 九月四日 元山發
九月六日 釜山發
▲關門行 雄基發、浦潮、城津、元山、各港經由
京畿丸 九月九日 元山發
九月十二日 釜山發
平壤丸 八月三十日 元山發
九月二日 釜山發
▲金剛山遊覽便 元山發長箭石亭經由 長箭行月六回但自六月至十月間
鏡城丸 八月廿三日 元山發
▲鬱陵島行 釜山發浦項及各地經由
盈德丸 八月廿四日 釜山發
釜山浦項線 釜山、浦項、力魚津 ○宗信丸○慶尙丸
濟州島行 釜山發 濟州島各港經由
昌平丸 八月廿六日 釜山發
▲濟州島行 木浦發東西廻ハ所安島經由
東廻 慶興丸 八月廿七日 木浦發
西廻 公州丸 八月廿四日 木浦發
▲釜山麗水線 釜山麗水相互ヨリ毎日一回出發
木浦麗水線 …
▲多島海行 木浦發多島海各島行
慶興丸 八月廿二日 木浦發
▲木浦行 仁川發各地經由
晉州丸 八月 日 仁川發
▲仁川海州行 仁川ヨリ毎日一回出帆
▲鎭南浦行 仁川發各港經由
天賜丸 八月廿五日 仁川發
▲大連青島行 仁川發芝罘經由
江原丸 八月 日 仁川發
朝鮮鐵道及社外船ト聯絡運輸アリ
本社 京城南大門通 電話長二三一 二三三
支店 釜山佐藤町 元山海岸通 出張所 木浦代理店 仁川代理店 山野回漕部 堀回漕部
京城南大門驛前 松原運送店
其他各寄港地ニ荷客取扱店アリ 電話長一二七〇

京城日報（年中無休刊）

本紙定價 一箇月七十五錢▲郵稅[illegible]▲前金[illegible]
廣告料 [illegible]
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社
發行兼編輯人 奧田直毅
印刷人 小川三之介
電話番號 長六千九番 振替京城三〇〇番

[illegible]暴風圏を伴ひ[illegible]たるが十六日朝九[illegible]なりしも徐々北進するに從つて[illegible]州西方海上に達し同日午後[illegible]衰退し十六日九州西方に達した[illegible]過の頃九州一帶は危險の[illegible]朝鮮南東部等は風波[illegible]は咸鏡南北道沿岸[illegible]は朝鮮に於ける今回の[illegible]の如くなるも電文の誤報又は[illegible]著の爲詳細は未だ判明ならず

京城日報　大詔拜讀

朝鮮總督府官制改正に當り大詔を渙發せられたること本紙號外の報の如し。謹みて之を拜讀するに、天覆の仁、地載の惠、學問の民に充ち、格表に溢れ、新附の民に對し、一視同仁、其間に秋毫の差別を置かせたまはざるは、最も鮮民をして感激せしむる所たるのみならず、從來動もすれば植民地呼はりを受けたる朝鮮が、此の洪遠の聖旨に依り、確實に日本帝國組成の一要素と公認せらるゝに至りたると、蓋し朝鮮統治上に一新紀元を畫するものたらずばあらず。而も是れ日韓併合の根本的大方針の顯實にして、先帝が『民衆（朝鮮の）は直接朕が綏撫の下に立ちて其康福を增進すべく云々』と宣はらせたまひたる聖旨を擴張せるものと拜察すべきなり。原首相は今回の聖慮を敷衍していへらく『現に朝鮮に施行する諸制度は、永久不變のものにあらずして、終局の目的に達すべき過渡の事情に依るものなりと諒解すべし。此の見地に依り今回諸般の改革を斷行し、將來に向つては、教育産業及び官吏任用の如き、漸次に內地と異なる所なきの域に達せしめんことを期す云々』と。惟ふに現在の朝鮮は、文化未だ洽からず、民智未だ伸びず、到底內地と一律の下に置くべからざるは、何人も之を認むる所なるも、既に朝鮮を以て帝國組成の一要素と爲すの根本義を確立したる以上は、將來事情の許す限り、漸次に內地に近似するの政を布き、遂に此の新領土に憲法を施行し、朝鮮民衆をして完全に帝國臣民たるの權利を享け、義務を負擔せしむべきは、固より當然のことにして、之がためには向後更に再三再四の制度改革を斷行せざるべからず。即ち今回の改正も、此の進步的路程の一驛に過ぎざるものにして、朝鮮のため、特に帝國のために之を祝賀せざるべからず。古語に『齊一變せば魯に至り、魯一變せば道に至らん』といへることあり。朝鮮人たるもの此際自ら顧みて、徐々に智德を磨き、進みて聖旨の期待に應ずるの覺悟を起し、努力奮勵する所なかるべからず。更に內地人の注意すべきとは、從來新同胞に對する態度の、動もすれば非難を招くの傾向ありたるを矯正し、上御一人の一視同仁の御趣旨を體し、之に接するに同情を以てし、之を待つに友誼を以てし提携誘掖して、其の向上進步を促し、皇化の洽きと、國運の發展とを圖る所なかるべからず。否らずして永く陋習を脱せず、鮮人の同化を阻害するが如きあらば、聖旨に反するの罪は遁るべからざるなり。

産米增殖問題と朝鮮（十四）

黃海社々長工學士 松山常次郎（寄）

內地人の朝鮮移住は朝鮮同化の政策上極めて緊要なることであつて官民協力之れに努力せねばならぬことであるが現在の所では千五百萬の鮮人に對し內地人の數三十四五萬殊に內地人は都會地に居住する者多くして著實に農業に從事するが如き移民は其數甚だ少い、故に朝鮮に於て農場經營をなすの勞力は大部分鮮人小作人に賴らねばならぬ、鮮人農夫は農業勞力の要素であるが新に大農場を拓いたとして直ちに之れに要する多くの鮮人小作人を得られるであらうかといふ事は何人も直ちに起す疑問であらう、村田農場、川佐農場、不二農場等の實驗によるに若し耕地さへ準備してやるならば鮮人小作人は直ちに集まつて來る實際に於て其募集に困難する樣な事は少しもない、之れは日本等に於ては思ひ懸けない事實だ、朝鮮人は有利な場所を發見すれば直ちに其の故鄉を捨てゝ之れに赴く、日本人に比し鄉心に乏しいと云ふ事は朝鮮人に此特性あるは果して如何なる原因について思考すべき事で我等の好奇心も價値なきものではない、いや朝鮮人の歷史を尋ねて其移住性に富む理由を會得せんと試みやう、昔咸鏡道の邊に扶餘族と云ふのが居つた之れは所謂檀君の國で大和民族とは兄弟の關係にある種族だとか說する學者もある、此扶餘族は滿洲朝鮮に蕃殖し朝鮮に於ては沃沮穢貊等の種族を征服し高句麗國を建て又百濟國を開いた、朝鮮半島へは古來漢民族の移住せる者も少くない、彼等は平壤に都し又馬韓、卞韓、辰韓を建て或時は郡縣の制を建て、其北部を領した、即ち漢族の殖民せる者なりと稱せられ、新羅が三韓を併服し日本よりの殖民地なりと稱せらる。任那を滅し高句麗、百濟をも亡ぼして遂に半島を一統したが高麗の朝、蒙古北より來りて威を半島に振ひ倭寇南より來りて其邊境を掠奪せしか遂に李氏之に代つて朝鮮を起した。其中世期は太閤の文祿役あり。近世に至り清、日、露の間に朝鮮を中心とし複雜なる外交關係生じ日清戰爭となり日露戰爭となり日本遂に優勢を示して最後に朝鮮の併合を斷行した。強大國の間に挾まる弱小國として國步常に險難にして主權者の交替頻りに行はれ四民安堵の暇なき有樣にあつた。或は優勢の民族に壓迫せられて他に移り或は惡吏の虐政に惱みて山林に遁る、等其例少からずであつた。斯の如き事情の下に朝鮮人は移住性に富む習慣に馴致せられたのであらう。朝鮮人は既に右の如き歷史を有する。彼等[illegible]移轉する[illegible]が住んで居る。此等民族の感化を受けた所もあらう。朝鮮人は今尚自給自足の生活をなして居るものが多い。彼等は如何なる自然の中に移住するも不自由を感じないのである。彼等は自ら其家屋を作り自ら必要なるものを耕して取るのである。彼等は復雜なる家具所持品あるにあらず移轉は彼等に面倒なる行爲に非ず朝鮮人の移住性に富むは彼等の歷史がこれを馴致し隣人之を示し、境遇之れを容易ならしめて居る。

平和後の國際金融（三）

日本興業銀行參事 一色信一氏談

今度世界の形勢は歐洲諸國は戰亂の痛手に依り恢復事業の爲めに多大なる物資を要すべく而も資力稀薄にしてその資本を他國の援助に仰がねばなるまい然るに是れに反し米國は益々

債權を增加

せしむるのみで國際金融上の實力は愈々充實する我が日本の如きも米國と同じく戰前の債務國を一轉して目下十八億より二十億の對外債權國となり其他和蘭を始め對外債權國は尚二三ありと雖も米國のそれに對比したならば九牛の一毛にも及ばぬ感がある即ち今後に於ける世界金融市場を支配すべきものは英か米か此兩者の內であつて果して其の何れかといふ事に就ては今茲に斷言する事を得ぬ然し先づ此の問題に就て兩國の形勢を述べ諸賢の判斷を俟つ事とする即ち英國は歐洲戰亂勃發以來多大なる貢獻に依り

全世界を驚嘆

せしめてゐる其の各般の施設に就て見るに三つの原因がある即ち第一には海軍力の優勢第二には商船噸數の多大第三には財力の豐富である所謂第一及び第二に依りて制海權を掌握し敵艦を封鎖せるものであるが其優勢なる海軍及び夥多の商船を五箇年間活躍せしめたのは第三たる財力の豐富によることを思はねばならぬ若し英國にして豐富なる財力を有しなかつたならば如何なる大艦隊と雖も意の如く活躍するを得なかつたであらう而も其財力は獨り自國のみならず聯合諸國を援助し能く

持久戰に堪

へしめたのである茲に至つて今一度英國に於ける財力に就て繰返して述べたい英國が七百二十八億といふ多額の戰費を支出して能く持久し得たるは即ち英國の對外債權の多大なりしに因るもので英國に對する各國の金融上の信用は亦實に渺からぬものがあつた前述の如く英國の對外投資は四百億內外で英國の富の五分の一強に相當した即ち英國の富の五分の一は對外投資より得たる利益と做すべきである而して英國の貸借關係を見るに年々十四億の輸入超過を示してゐたが對外債權の利息を

假りに五分

と見做して計算しても二十億は外國より流入し猶其の他船舶の貸與運賃等の收入が平均十億を算し銀行業及び保險業等に依る手數料のみにても六億の收入があつた即ち是等の總額を合算しても優に三十六億の巨額に上るそこで十四億の輸入超過はあるとも是等の收入は是を支辨して猶廿二億の收入超過を示してゐた此收入超過は漸次對外投資と化してゐたのである（東京支局）

輸出品の粗製濫造取締　同業組合成立

我海外貿易は逐年進步しつゝあるが當業者の中には目前の小利を急にして無理注文を受け其結果粗製濫造となり我製品の聲價を失墜することが尠くない農商務省では昨年以來同業組合聯合會の成立の勸誘を企てた處當業者の自覺を喚起したものと見え昨今漸く組織される樣になつたので既に全國に五十三の同業組合聯合會が出來九月十日から各道府縣同業組合主任官を會合せしめて其指導監督の方法に就き協議を開くことゝなつたことである右に就て同省の藏川工務課長は曰く『從來我が輸出品は、少規模な工場の生產物が多く從つて品質の不統一となり注文を受けても生產能力が夫に伴はぬから動もすると粗製濫造の弊に陷り實用に堪へない商品を輸出し一朝外國競爭品の市場に現はれんか忽ち信用を失墜し販路を梗塞される悲境に陷るものである、これが改良には同業組合聯合會を組織して步調を一にし檢査の標準を統一して製品の檢査をなす機關たらしむることは最も適當な方法で聯合會を設立して檢査を統一にせしむれば即ち我國全體の同業者の一大工場となる譯であるから、如何なる大註文を受けても困らねば輸出品の價格の一定を圖ることも出來、場合によつては生產の調節も爲すことが出來る、尤も來る十月一日から省令を以て同業組合聯合會又は道府縣の檢査を受けたものでなければ輸出が出來なくなる若し之に違反すれば百圓以上の罰金に處せられる樣になるから今後は輸出生產者はこの聯合會に加はらねばならなくなる、之れは粗製濫造を防止するだけの聯合會でなく其目的は廣く製品の整一を圖り一大注文にも應じられる樣にもなり、日本製品の聲價を發揚し益々海外に販路を擴張し、場合に依つては海外に派出所を設け適當な人を派して市場の狀況を報告せしめて取引上の機會を逸せぬやうに努め我國貿易の伸展を期したいのである』云々

全鮮水產業者數　內地人增加朝鮮人減少

大正七年末に於ける水產業者戶口を調査するに內地人業主中專業者戶數三千二百九戶人口一萬一千四百三十一人同兼業者二千二十二戶七千三百十九人從業者二千六百六戶七千百五十九人朝鮮人業主中專業者戶數二萬六千七百十二戶人口十一萬二百三人同兼業者七萬六千百五十戶二十九萬七千八百八十三人從業者二萬四千六百一戶九萬二千七百六十九人にして之を

業種別に

見るときは漁業に於て內地人業主中專業者戶數二千百九十三戶人口八千二百四十六人同兼業者千百十四戶四千十五人從業者千九百六十戶四千五百六十八人朝鮮人業主專業者戶數二萬三千三百六十三戶人口九萬五千百人同兼業者四萬九千九百二十九戶十萬七千五百八人從業者一萬七千七百七十六戶六萬二千七百二十七人養殖業に於て內地人業主專業者戶數十戶人口三十九人同兼業者四戶十三人從業者四戶十六人朝鮮人業主專業者戶數三百六十九戶人口千三百四十九人

同兼業者

四千五百二十六戶一萬七千三百七十一人從業者二百八十二戶千四百二十五人水產製造業に於て內地人業主專業者戶數二百八十五戶人口千十四人同兼業者四百二十五戶千八百四十人朝鮮人業主專業者戶數千七百八戶人口六千五百九十二人同兼業者一萬八百九十三戶四萬四千九百三十四人從業者三千六百七十三戶一萬六千二百八十八人水產物販賣業に於て內地人業主專業者戶數七百二十一戶人口二千百三十二人同兼業者四百三十九戶千三百二十五人從業者二百七戶七百三十二人朝鮮人

業主專業

者戶數三千二百七十二戶人口一萬千七百六十一人同兼業者一萬八百戶三萬八千七十八人從業者三千七十戶一萬千三百二十九人なりとす今更に業主に於て大正六年末との比較を見るに內地人專業者戶數五十六戶人口二百九十六人同兼業者七百五十九戶三千三百四十八人計八百十五戶三千六百三十六人を增加し朝鮮人專業者戶數廿戶を減じ人口五千三百三十八人を增加し同兼業者百三十六戶を減じ二萬七千九百六十九人を增し計戶數百五十六戶を減少し人口三萬三千三百七人を增加せり斯の如く內地人の戶數を增加せしは從來

內地より

通漁として漁業に從事せし出稼漁業者の中經營上十分の見込附き移住したる者多かりしに因る又朝鮮人の戶數を減少せしは[illegible]の影響を受け小資本家の共同經營を爲すに至りし者少からざりしに因るものにして人口の增加は從業者にして內地其他へ出稼せし者の家族が業主と同居し經營を同じうするに至りし者多かりしによる

川柳談語

劍花坊

京城柳壇の川柳はこれまで題を課して募集したが、當分試みに無題にして募集して見やうと思ふ、詩は作る物では無い、述ぶる物、詠ずる物、歌ふ物である以上、題の必要は無い、心に有るところを直ちに詩にすれば可いのだ、作併それはちよいと見ればまことに容易くなつたやうで至つてむづかしいことである、でも『題が無い』と、どうも作り難いといふことを云ふ、況して他の道には先輩であり、學者であり、通人で有つても、川柳には初心であり、初學であり、入門したばかり』といふ人にはかなり面倒なことであらう、すでに我古川柳が、未だ川柳といふ名の無かつた寶曆明和年代、前句附といふ名目で有つた時でも、其前句に對する後句といふのが題である、其題を目的にして句作してゐた、其事は委しく自分が今度出版した單行本『川柳を作る人に』といふ書で說明してゐるから、こゝには簡單に例を擧げて置く。

連絡船乘客　十九日午前入港高麗丸一二等客 一等（二八名）旭藤三郎、同未子、同龍雄、渡邊芳一、同草、金田眞三、六田範立[illegible]

[illegible]

下關期米特電　二十日後場　前場 [illegible]

東京期米特電　二十日後場　前場 [illegible]

◎謹告
一牛乳　壹合　金拾貳錢
材料騰貴諸費用增加に付來八月廿一日より値上仕候
京龍牛乳販賣業者一同

全國唯一無二の受驗準備の最良月刊雜誌
小學 復習と受驗
九月號 愈々出來歡迎
學校で優等生になるにも中等諸學校の入學試驗に合格するにもぜひ讀まねばならぬ小學五六年の友『復習と受驗』は每月一回發行の雜誌で讀方、算術、地理、歷史、理科、の諸學科を、高等師範學校や東京府立學校の諸先生方が大層よくわかるやうに講義せられ、又右の本年の各中等學校の入學試驗問題を全國の東京府立學校の諸先生方が解答せられて居る、其の外少年少女の讀物や和歌や英語や算術の問題なども滿載した面白い雜誌です……
『復習と受驗』は讀者をして中等學校の入學試驗を受けるのに慣れしめるため
中等學校入學 模擬試驗
上誌の他に時計其他の賞品付の模擬試驗を行ひます、試驗委員は東京各府立學校の先生方です、受驗希望の方は八月十日發行『復習と受驗』の九月號を御覽になれば其の方法が載せてあります
定價一部拾錢 半年六冊同一圓 一年十二冊貳圓四十錢 郵稅共
發兌 東京市牛込矢來町 振替東京五七五七 南光社

德川賴倫侯題字 大町桂月先生 加藤咄堂先生閱 高木斐川先生著
式辭演說大觀
菊判製千二百頁 定價參圓五拾錢 特價貳圓四十錢 送料十八錢 海外六十錢
現代凡ゆる式辭演說の模範實例數百篇を滿載網羅し最も懇切に其心得用句作例を詳說し眞に至れり盡せりの書なり大特色で凡百の此種著書との比にあらず右に五百頁の大著あり[illegible]
發行所 東京下谷區西町三 振替東京四二一一八 帝國教育學會

大正八年八月號
朝鮮彙報
口繪 ▲金剛山（內金剛明鏡臺、外金剛飛鳳瀑）▲京城郵便局窓口に於ける平和記念郵便切手賣捌狀況▲京城郵便局事務の狀況▲漢江に於ける京城電氣會社の浦潮支那研究之景▲浦潮港岸壁繫船之景
○圖表 朝鮮の麥產
總督諭告
調査及研究 ○騷擾の財政及經濟上に及ぼしたる影響 ○大正八年上半期朝鮮貿易概況 ○文部關稅改正 ○麥作豫想 ○市場調査狀況 ○種牡牛種付數 ○朝鮮に於ける堤堰 ○新作組合の沿革 ○事業の概況（高塚[illegible]）
朝鮮の機業……都澤正章
南洋視察談 松井房次郎
地方事情 ○鏡北道……○鯖漁寄附漁撈試驗の成績（[illegible]）
支那絹布業の現狀及其將來……室田武隆
雜錄 ○遞信事業概況（大正八年六月分）○外國電報地方別發著狀況 ○遞信業務傳習生入學及卒業 ○朝鮮人物荷動狀況 ○阪神鮮魚運搬 ○朝鮮線……
圖書の性質と其價値……岡田秀
統計 ○六月中朝鮮貿易 ○五月中經濟概況 ○裁判所及檢事局取扱事件數 ○家畜數調 ○鐵道旅客運輸 ○出入港船舶調 ○法令及通牒 ○判決例
定價廿五錢 郵稅一錢五厘 廣告料一頁七圓 販賣所 鮮內地各書店

朝鮮銀行　第貳拾期決算公告

貸借對照表（大正八年六月三十日現在）

負債	
資本金	四〇、〇〇〇、〇〇〇・〇〇〇
諸積立金	四、二一八、〇〇〇・〇〇〇
銀行券發行高	一〇〇、七九七、三三九・三〇
仕拂手形振出高	一、二八二、五八九・一〇
政府貸下金	一、二〇〇、〇〇〇・〇〇〇
諸預リ金	一八五、六三五、三八七・一八
仕拂爲替手形	三八二、五五七・五三
借入金	三九、八〇〇、〇〇〇・〇〇〇
賣爲替	一、六四一、三五七・四五
仕拂承諾	一九、六六九、三一四・二三
他店ヨリ借	九、〇七〇、九九二・一五
松田銀行部ヨリ借	八、五二六、七三三・一六
本支店未達勘定	六、〇四三、五五〇・四二
仕拂未濟配當金	五〇、五一五・〇六
前期繰越金	三六一、〇三三・〇三
當期純益金	一、九八八、五二五・八五
合計	四三二、六六七、八九四・四五

資產	
拂込未濟資本金	一〇、〇〇一、四二五・〇〇
政府貸上金	五、五〇〇、〇〇〇・〇〇
諸貸出金	一八〇、四三一、三三二・九〇
現金有高及預ケ金	四九、二三二、一五六・二八
假拂金	五一、五一八・五九
買爲替	一八、一六六、七七四・三三
仕拂承諾見返	一九、六六九、三一四・二三
公債及債券	一四、五三七、四四一・一六
他店ヘ貸	五、七六〇、八一三・〇五
松田銀行部ヘ貸	一、〇〇二、一〇三・五四
地所建物什器	四、三二九、〇九五・五一
地金銀及外國貨	三、九八五、九二九・八七
合計	四三二、六六七、八九四・四五

損益勘定

金百九拾八萬八千五百貳拾五圓八拾五錢 當期純益金
金參拾六萬壹千參拾參圓參錢 前期繰越金
合計金貳百參拾四萬九千五百五拾八圓八拾八錢
內
金五拾五萬圓 損失補塡準備金
金五萬貳千圓 配當平均準備金
金八萬五千圓 役員賞與金及交際費
金六拾萬圓 舊株配當金（年六分）
金拾九萬六千貳拾七圓參拾九錢 新株配當金（年六分）
金參拾萬圓 舊株再配當金（年三分）
金九萬八千拾參圓六拾九錢 新株再配當金（年三分）
金五萬六千參百九圓貳拾四錢 政府納付金
金四拾壹萬貳千貳百八圓五拾六錢 後期繰越金
右ノ通ニ候也
大正八年八月
朝鮮銀行
總裁 美濃部俊吉
副總裁 嘉納德三郎
理事 三島太郎
理事 木村雄次郎
理事 大田三郎
理事 片山繁雄
前記各項ノ調査ヲ遂ケ其正確ナルコトヲ認ム
監事 伊藤長次郎
監事 服部金太郎

第二回朝鮮殖產銀行債券募集（壹百圓、五百圓、千圓の三種無記名式利札附）
募集總額 壹千萬圓
利率 年七分
發行價格 額面百圓に付金百圓
申込期間 八月二十五日より八月三十日迄
證據金 額面百圓に付金參圓
拂込方法 [illegible]
拂込期限 十月五日迄
御通知次第參上御相談の上便宜御取扱可仕候
詳細は殖產銀行債券募集廣告御參照被成下度候
東京現物團株式會社角丸商會代理店
有價證券 現物問屋 京城古市町十四番地 近藤脩商店 電話長六七二番 一八二七番

上田式銀行ペン
時代の進步に適應したる本品は硬質なるイリジアームを裝塡せる正十四金ペン付き卓上事務用
本品の提供により現代的事務家の渴望を醫す
各地到る處文具店事務用品店にあり何れに求めらるゝも同値段一切値引なし
壹號特價 金參圓 貳號特價 貳圓五拾錢也
大阪市南區鰻谷西之町五十番地
上田式銀行ペン製作所

弗箱と稱せられし時代より苦心研究せられたる活歷史を有する竹內金庫は實に信用の凝塊なり
東京竹內製ペント金庫
カタログ進呈

京城 熊平支店 電話長六二四番 [illegible] 振替京城二二一番

川柳を作る人に
井上劍花坊著 菊半截判 函入美本 定價壹圓廿錢 郵送料八錢 頁約三百頁
江戸文學に現はれたる都會的生活に於いて感情の洗錬と感覺の銳敏とが娯める機智とユーモアとは遂に川柳となつて顯はれ吾等の尊き詩想的遺產として殘されたりこの民衆藝術の芳香に接して胸底を豐かにせられよ。
東京牛込築土八幡町九番地 南北社（振替口座東京一九四四番 電話番町長九五七番）

家庭必須の常備藥
朝鮮總督府認定消毒劑
アイゼル
最も恐るべき肺結核、流行性感冒、チブス、コレラ其他種々なる傳染病の豫防に欠くべからざる本品は消毒力强大にして又無比の防臭藥となり且つ一般の皮膚病及切傷擦傷火傷凍傷等にも特効あり然かも無害無毒にして廉價なるが故に家庭に必須の理想的常備藥なり
○本品は各地著名の藥店にて販賣す
○諸檢査報告書は御申越次第送呈す
宣壽堂 井上藥品部 京城 略 電話八〇八 振替京城八九九

英下院の大論戰

暴利取締案に就き徹宵討議

英國下院は徹宵暴利取締法案を討議し午前五時に至りて修正案を可決し改造大臣ゲデス氏も是を承諾せり討論は最も熱烈を極め各演說者は同法案を大體に於て是認せるが然も其方法が果して有効なるや否やを疑へりサーアネスト、ワイルド、サトロバートセシル、フランシスローの諸氏の政府黨員も亦激烈なる攻擊を加へワイルド氏は同法案を以て近來未曾有の大罪惡法案と稱しロバートセシル氏は國民は今や與つて管理政略に飽き果てたりと言へり斯て討論十三時間にして僅に法案十數項を議了したるに過ぎず政府は委員會の繼續議事に十二時間猶豫を與へたれば徹宵議事を繼續さるゝに至りし次第なるが同法案は午前六時に至りて委任報告を通過したり(倫敦電報)

下院第二讀會通過

暴利取締法案は八對二百五十一票の大多數を以て下院第二讀會を通過せり(倫敦電報)

對匈最高委員組織

最高會議は在ブダペスト聯合國軍の委員に訓令して最高委員を組織せしめたり故に彼等はルーマニヤ軍に命令を與ふる資格なきこととなれり最高會議はハンガリー新政府の鞏固なるものなるや否や不明なるを以て委員に訓令しハンガリー新政府の承認を與へしめざらんことを求めたり(巴里電報)

英勞働黨の主張

英國勞働黨首領等はリバープールに會合し曩に罷業したる巡査全部を復業せしめずんば八月二十日より三日間總同盟罷業を行ひ更に明日を定めてこれを議せんことを決せり(倫敦電報)

伊首相日伊親善力說

伊太利首相ニッセル氏は山本海軍大佐、高橋副官を招待し長時間に亘り會談したるがニッセル氏は頻りに日本を稱揚し兩國間の親善を希望する旨披瀝したり(羅馬電報)

米急速條約審議

米國政府當局元老院議員は同院外交委員會に對し右委員は至急講和條約に關して報告をなさざるべからず然らざれば同委員會より講和條約を取り上げ直に是を批准すべしと告げたり是がため同委員は最も迅速に講和條約の審議を結了すべきことを承諾せり(華盛頓電報)

バ氏生活費低減策

檢事總長パーマー氏はトラストを抑壓し生活費を低減する爲め一百五十萬弗の支出を要求する旨發表せり(華盛頓電報)

英公使退去命令

カランザ將軍は駐墨英國公使代理カムミンス氏に退去を命じたり(倫敦電報)

新露國政府樹立

波羅的沿海諸州派遣英國委員の提議に依りペトログラード、プスコフ及びノウオゴロド各州を統轄する新露國政府樹立せられたるがユデニッチ將軍を陸相とせる同新政府はエストニアの獨立を承認せり(倫敦電報)

デニキン軍オデッサ包圍

デニキン軍の左翼は東北及び東部兩方面よりオデッサを包圍せりデニキン軍の成功の結果敵のオデッサに至る交通は僅に一路の鐵道線路を餘すのみとなれり今や義勇軍はオデッサを去る僅三十哩の地點にあり(倫敦電報)

西伯利物資輸送

米國々務省は西伯利に輸送する目的にて桑港より浦鹽に向け各種物資を輸送し居ることを認めコルチャック政府は是れに依り利益し得べしと信じ居れり(華盛頓電報)

世界的の劇暑

山東私權の保存

の言にあらず蓋し商工立國を[illegible]然の權利行使にして斷じて第三[illegible]東問題に就ては徹化することと[illegible]各大臣及び西園寺、牧野の兩顧[illegible]なりと云ふべし予は青島民政[illegible]詳細愼重に視察しその上北京に[illegible]入り近く歸京すべければその[illegible]山東を見たる內地人の觀察だに[illegible]もなさざる施設をなし青島に[illegible]に支那に還附すべきことを[illegible]

羅軍撤退拒絕

羅馬尼軍はブダペストを撤退すべしてふ聯合國の指命に服從することを拒絕したりと(維也納電報)

駐支米公使更迭

米國公使ラインシュ氏は今回辭職許可せられ來月中旬出發歸國の豫定なるが同公使歸國後後任公使來着迄は現一等書記官テンニー氏代理公使たるべし(北京電報)

駐日公使同意案

駐日支那公使に就きては日本側も異議無き事明瞭なるを以て支那政府は近く國會に同意案を提出すべし(北京電報)

新官制發布に際し

至仁至慈の大詔を拜さば不平の徒も故山に歸耕せん

在東京 宋秉畯子 談

新官制發布と共に優渥なる大詔を拜し 聖上陛下御仁慈の聖德に感泣に堪へず彼の至仁至慈の大詔を拜せば鮮人如何なる不平の徒と雖も必ずや感激して故山に歸耕し聖代治化の民たる事疑ひを容れず、今や東洋に於て某々國人等の爲す處の傍若無人なるを見よ若し十年以前に朝鮮が日本に併合せざりしと假定せば實に今日此秋を以て東洋全局の爲め併合を斷行し以て兩者の生存を保證すべき時なるを感ぜしむるものあらずや然るに既に併合は過去の事と化し今や

第二の大詔を拜して朝鮮內地悉く是れ一家の御宇の下に聖代の惠に浴せんとす新總督新總監は寬宏練達の長者なり吾人は深く是に信賴し朝鮮の治化を其今後の時日に待たんとす過去十年の治績は朝鮮をして驚嘆に値する進步發達を遂げしめたり然も今後の十年の進步は更に驚嘆に値するものあるべきを豫期す、今や

鮮人の智腦漸く進み產業相踵で興り相當の實力を具備し來れり此力を利導し善用するは局に當るもの、正に意を用ふべき所なるべし愼く民意を察し民論に聞くの實を擧ぐるは亦中樞院の改造、擴張、活用の如き又正に當局の意中にあるを疑はず要するに時代は

朝鮮の異常なる進步發達を促しつゝあり、此機運に從ひ其開發に當るは朝鮮に在る內地人協同一致の努力に待つ所なり(東京特電)

局長部長

任命發表

朝鮮總督府新官制に依る各局長並に各部長其の他は既報の如き顏觸れにて二十日任命發表あり(東京特電)

山形縣理事官 卜部正一 任同上(五等)
警視廳警視 小林滿正 任同上(七等)
愛知縣理事官 小橋卓四郎 任朝鮮總督府警察官講習所長(五等)
兵庫縣事務官 八木林作 任朝鮮總督府道事務官(四等)
靜岡縣理事官 新庄祐次郎 任同上(四等)
兵庫縣事務官 山口安憲 任同上(五等)

茨城縣事務官 國水武 任同上(五等)
富山縣事務官 馬野精一 任同上(五等)
福岡縣事務官 松村松守 任同上(五等)
群馬縣事務官 石黑秀彦 任同上(六等)
栃木縣理事官 岡崎哲郎 任同上(六等)

(右より)赤池總督府內務局長原土木部長河內山財務局長西村殖產局長國分法務局長(兼任)野口警務局長

(右より)持地遞信局長大塚中樞院書記官長(兼任)靑木總督府庶務部長和田同鐵道部長

具警務官と久水外事課長

二十日左の辭令發表せられたり(東京特電)

朝鮮總督府事務官 具然壽
任朝鮮總督府事務官(二等)
同外事課長 久水三郎
休職を命ず

其の他堀內宮崎縣知事の埼玉縣知事に廣瀨長崎縣內務部長の宮崎縣知事に轉任確定せるは既報の如くなるが右は同時に發表されたり(東京特電)

事務官任命

二十日午後四時左の辭令發表せられたり(東京特電)

朝鮮總督府檢事 吉浦熊藏 任朝鮮總督府道事務官(三等)
朝鮮總督府府尹 中野太三郎 任朝鮮總督府事務官(四等)
靜岡縣內務部長 丸山鶴吉 任朝鮮總督府事務官(四等)
富山縣警察部長 白神佐吉 任同上(四等)

辭令

二十日左の任命あり(東京特電)

臺灣總督 明石元二郎
補臺灣軍司令官
陸軍少將 村田信乃
朝鮮軍司令部附被仰付

水野總監動靜

水野朝鮮總督府政務總監は十九日京都に赴きたるが二十一日歸京の筈(東京特電)

兩局長新任挨拶

新任赤池河內山兩朝鮮總督府局長は二十日朝鮮總督府出張所に於て齋藤新總督に新任挨拶を爲せり(東京特電)

鮮銀總會

二十日午前十時より 原案通り可決

朝鮮銀行第二十期株主總會は二十日午前十時より丸の內銀行集會所にて開催されたり當日は美濃部總裁議長席に着き嘉納副總裁太田理事服部伊藤兩監事森大藏省理財局長、河內山總督府財務局長等臨席株主出席者委任狀共二千三百二十一名此の株數二十一萬七千三百九株美濃部總裁より鮮滿財界及び銀行營業成績に關する詳細十分の成算あり貸出の放漫云々に對しては極めて急激なる滿鮮財界の進步に追隨して資金供給の及ばざるを恐る、現狀にして放漫に失する餘地なし倘ほ留紙幣下落の爲め鮮銀は缺損を爲せるに非ずやとの質問を受くる事あるも鮮銀所有の留紙幣は西伯利の現地にて留の支拂に充つる爲めの準備なるを以て

相場の下落によりて缺損を生ずる性質のものに非ずと說明する所あり終りて議案を附議し服部監事より營業報告書、貸借對照表、財產目錄、損益計算書の正確なる事、利益金分配案(配當年九分)の正當なるを認めたるを報告するや一株主より利益金分配案中政府納付金(五萬六千餘圓)の性質に對する質問あり美濃部總裁より配當金が拂込資本の百分の十二以上に該當する時は

其過剩金額の半額を政府に納附するものにて略稅換券發行稅に該當するものなりと說明し倘ほ株主より時局配當を一割にせん事を希望し總裁より利益金の處分は事業の擴張、積立金の增加に充つる事を適當とする旨答へあり異議なく原案可決し終りて監事伊藤長次郎氏滿期に付再任と決定十一時散會せり(東京特電)

黑龍督軍赴任

過日吉林に赴き鮑督軍より印綬の引渡しを受けたる新黑龍督軍孫烈臣氏は十八日長春に歸來道尹公署に入り滯在中なりしが二十日午前警護兵約二百名を從へ東清鐵道臨時列車にて哈爾賓經由任地に向へり見送人は吉林省長其他多數ありたり(長春特電)

北嶋博士著奉

北島博士は二十日午後三時來奉せり(奉天特電)

憲兵補助員解命

憲兵補助員約四千三百餘名は新官制發布と共に巡査に採用さるべく決したるを以て憲兵隊司令部にては十九日を以て二十日より解命の旨通達したるが新辭令交付迄は依然職務を執るべしと

國勢調査と鐵道

國勢調査の準備として來る二十七日より講習會を催すことは既報の如くなるが鐵道關係にありては列車乘客等に於ける乘降人員及び停車場に於ける乘客調査等鐵道側に委託の要あるもの多きを以て右講習會には京管局よりも當該主務者を出席せしむべしと

三井支店長會議

三井物產會社にては來る九月一日より支店長會議を開會する事となり高野京城支店長は二十二日上京の事に決定せしが附議事項多きため其の終了は十五日頃となるべし

ソールホテル計畫

京城の閔泳綺、李根澔、石鎭衡、韓相龍氏等發起となり資本金百萬圓の株式會社ソーウルホテル設立許可の申請をなしたるが同社は發起所を京城に置き旅館玉突場貸室等を目的とするものなりと

南海拓殖支店

和歌山縣所在南海拓殖株式會社にては龍山の松山常次郎氏を出願代理人として京城に支店設置の申請をなしたるが同社の事業は慶南道咸安郡に於ける草生地約七百餘町步を買收し水田となすにありと

斃牛と畜產會社

西鮮地方旱魃甚だしく野に牧草無き爲牛の斃死するもの尠からざるを以て斯業に深き關係を有する中央畜產會社に就き其眞相並に被害程度を聞くに同社貸付牛總數は一萬二千六百二頭にして主に南鮮地方なるが西鮮地方としては僅に八百四十五頭沙里院一千三百三十九頭合計二千百八十四頭に過ぎず而して右の牛は孰れも確實なる契約の下に貸付行はれ居るを以て若し斃死するも會社は直接何等の影響を蒙らざる筈なれども猶ほ調査の必要あるを以て目下社員を特派し調査せしめつゝありと

客月鮮鐵業績

客月中に於ける朝鮮線旅客運輸狀況を聞くに當月は諸學校夏季休暇に當り學生の乘車多かりしを以て例外の好況を呈し總人員八十四萬六千人に上り前年同月に對比し二十九萬人の增加にして內鮮乘車は四千餘人の多數を算し客車收入は七十三萬八千圓を擧げ前年同月に比し二十二萬圓の增收に當れりと

宇佐美氏歸鮮

總督府內務部長官宇佐美勝夫氏は二十日午後七時五十分南大門驛着歸城せるが驛頭には山縣前政務總監及び前各部長官其他多數の出迎へ有たり

村田少將歸城

新任朝鮮軍司令部附陸軍少將村田信乃氏は二十日午後七時五十分南大門驛着歸城したり

兒島總長張宴

兒島憲兵司令官は十九日午後七時より總督府內部出入記者にて組織せるポプラ倶樂部員を梅の家に招待し晩餐會を開けり

人事消息

▲原鐵三郎氏(朝鮮製紙會社專務取締役)廿日入城天眞樓へ
▲田中淸吉氏(大阪共益社專務取締役)廿日入城天眞樓へ
▲久保田豐氏(三菱社員)廿日入城天眞樓へ
▲島野末太郎氏(總督府技師)廿日入城天眞樓へ

鮮滿片々

慶北秋蠶掃立數

慶尚北道內大邱府を除く各郡島に於ける本年の秋蠶掃立數は二萬五千餘枚にして最近大部の掃立を終る筈であるが此の收繭豫想額三千二百餘石昨年に比し枚數に於て四百六十餘枚を減じたが收繭豫想に於て五百餘石の增加を示して居る(大邱)

水利復舊資金

東拓水利組合は東拓の資金二十餘萬を得て事業の經營をなし來つたが這般多大の水害を蒙り先般組合總會を開き復舊工事方に就き凝議した結果復舊工事費を再び東拓に仰ぎ工事に着手する事に理事者は東拓に向つて交渉したので東拓では被害調査の必要上京城支店より土木課長關谷忠正氏を去十八日現場に派遣した(大邱)

日支共同防疫

長春城內外の支那人コレラ發生は日々逐うて增加の傾向にある爲め吾が當局は日支共同防疫の開始を交渉せしに支那側でも快く同意したから今後は迅速に諸種の手配をなすべく尙ほ同病にて死亡したものは一切火葬にすることを交渉した所支那人の舊慣として之れを許さないので死體は深さ八尺の穴を掘つて之に石灰を以て完全に埋沒することにした(長春)

營口仕向激增

營口線運賃の改正と大連埠頭の滯貨とは相俟つて近時鐵嶺より營口に仕向けらるゝ貨物の量を激增せしめた卽ち本月十日までの累計によると豆粕四萬千枚石油二萬一千斤大豆一萬九千餘石で何れも鐵嶺驛發送に係るものゝみで水運は皆無である(營口)

銀と支那銅貨

支那一帶に於ける最近銀の昂騰は未曾有の高値を示し大洋對金塊は實に百九十圓以上に郵便局公定の鈔洋金又一圓八十二錢の記錄を示すに至つたが支那銅貨又大洋一元に對し百三十一圓正算百二十二文金票は實に六十五文と云ふ交換率に達して支那銅貨一文は實に一錢五厘強に當る(大連)

電車賃金改正

滿鐵にては在來の時間制を廢し大連電車賃の改正を行ふべく近く關東廳に認可を申請する筈であるが改正運賃は特等片道六錢往復十錢並等片道五錢往復八錢で現行賃金に比し特並共一錢增しとなる(大連)

七月豆粕製造高

大連聯合油房の七月中豆粕生產高は上旬九十萬枚中旬七十萬四千枚下旬五十三枚計二百十四萬四千枚なるが此中埠頭區の製造高百六十六萬六千枚小崗子區は四十七萬枚である(大連)

滿鐵傭人昇給

滿鐵の傭人定期昇級は去る十六日であつたから物價騰貴の此際各向々に對し夫々例年の殆んど倍額を增給することゝし同日附にて滿洲朝鮮各關係事業傭人に對して昇給を發表した(大連)

日滿海電不通

大連佐世保間海底電信は十六日午前二時突然不通となつた通信當局では直に之が取調を爲して居るが故障を生じたらしく勿論佐世保からの測定によらなければ海陸何れの場所に障害があるか確實には不明なるも頃日九州方面暴風甚だしく其爲電信全く不通となつた有樣であるが遠からず回復の見込である(大連)

商議評議員改選

九月一日木浦商業會議所評議員の改選につき會議所で選擧人名簿の作製中であつたが既に完了したから二十日より五十日間有權者に縱覽さす事となつた(木浦)

全北金融狀況

全北各金融組合に於ける最近の資金運轉狀況を聞くに每年農繁期には資金の需要繁忙でないけれど本年は米作の豐況並に一般の好景氣につれ農家の經濟著しく膨脹し取引は繁多で回收も極めて順調だと(全州)

烏瞰錄

米國の大統領選擧は其れこそ米人の血を湧かさするのみならず世界人士の視線を米國のみに引き付ける大問題である丈けに其れ丈け選擧騷ぎも大きい▲來年は愈々其大騷ぎの大統領選擧期であるから最う早やぼつ〳〵候補者が頭を擡げ出した▲民主黨からは現大統領ウイルソン君前大藏卿アッカヅー君前國務卿ブライアン君を始め▲前下院議長クラーク陸軍卿ベーカー上院議員アンダーウッド海軍卿ダニエルスと云ふ面々▲共和黨から前大統領タフト君前大審院判事ヒューズ君を始め▲上院議員ロッヂ同ノックス同ハーデング同ボラーと云ふ山東問題を引つかついで無遠慮に他人の迷惑も知らぬ氣にウイルソン君に喰つてかゝりつゝある荒武者▲其れに續いて同カンミンス同ジョンソン同ケロッグ同ベヴエリッヂやウッド將軍と云ふ連中である▲兩黨以外からは出征軍總司令官パーシング將軍食糧管理官フーヴアー君などゝ豫想候補者の中に見ゆる▲と云つて餘り異國にも信ぜられないが若しボラやノックスなどの荒武者連でも出やうものなら何んな事を云ひ出すかも知れぬ▲幾等言論が自由だと云つて共和黨の名士連の無作法には閉口せざるを得ない▲大統領が彼あ云ふ事を云ひ出しては外交は其處でも此處でもミツ々々當り廻る事だらう▲而し當り廻り居る中に何時の間にか固くなるかも知れぬテ

重要電報 欄外に在り

京日案內

普通 一回前金七十錢 番外 一回前金一圓二十錢
▲申込後中途掲載中止は料金不返戾 ▲六回以上の申込は特に割引の事 ▲照會は返信附に非ざれば回答せず

古本熱心高價買入 ▲是非御試買を乞ふ ▲本町二丁目 ▲御報參上 電話三一九五番 群書堂

看護婦及見習看護婦採用 給料は如何に依り拾圓乃至廿五圓迄の手當を支給す 明治町二丁目 京城久枝肛門病院

乳母一人入用 (姓名在社)

社員高給招聘 外務 希望者履歷書携帶來談 地方送れ 京城黃金町二丁目 日淸生命 支社

鷄卵配達夫募集 京城本町一ノ五〇 電五四貳 守山鷄飼育所

店員入用 外交に經驗ある者にて市內の地理に精通せる者本人來談 但市內に確實なる保證人を要す 旭町壹丁目市場內食品組合運送部

理髮職人雇入 年齡十八歲以上卅歲前後の者給料優遇す 希望者は直接本人來談あれ 面談の上 (姓名在社)

店員入用 十八歲以上廿四歲迄 保證人を要す 長谷川町 電話四九六 砂糖麥粉商 中島京城支店

丁稚入用 保證人二名を要す 京城黃金町貳丁目 時計卸商 喜多金光堂 電話一〇二五番

玩具卸商 出荷迅速 取引確實 內鮮人向 京城本町二丁目 ウラシマヤ 振替京城六六八番

女中入用 年齡廿歲前後身體健康なる者至急來談あれ 京城水標町四一 吉武

內外勤社員採用 希望者は履歷書持參午前中來店 京城黃金町一ノ八五 電話五五七 帝國生命保險株式會社支店

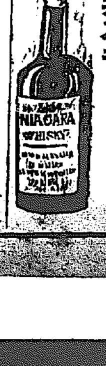
柳行李革鞄專門 京城本町三丁目 電話二四八二 但馬屋(タジマヤ)

牛乳配達人募集 十八九歲より廿五歲迄の內地人希望者は直接本人來談あれ 東小門外電一參三番 平山牧場

競馬騎手入用 十七八歲以上希望者面接來談を乞ふ 京城東小門外 電話一參三番 平山牧場

電機學校 校內生(晝夜間)授業料一、二期本科一期選科… 校外生講習生 授業料改正す但九月十一日迄の前金拂込者には其期間に對し授業料は從前通 東京市神田區錦町三丁目

米國ナイアガラ醸造會社(元詰) 芳醇ナイアガラウヰスキー 輸入元 釜山大倉町 ミトヤ商店

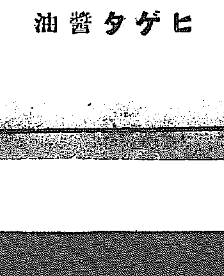


分工場開業披露
諸汽罐機械 鐵骨設計 製作据付 工事一式
平壤橋口町四十一番地 加藤鐵工所 平壤分工所 住宅 平壤八千町四八番地
京城龍山元町二丁目四番地 加藤鐵工所 電話龍山八二三番 店主住宅京城龍山元町二丁目八

京城日報社編纂 最新書式大全 菊版クロース頒美本九百頁 定價參圓郵稅二十七錢
本書は最新の朝鮮書式大全にして各種關係法規に依り、民事、刑事、商事、交通、通信、財政、殖產、特許、意匠、商標、實用新案、恩給年金、警察、學事の十部に分類し各部又一々關係法規を摘錄し一切の書式を網羅して餘さず各階級を通じて必携缺ぐ可からざる良書なり
發行所 京城太平通 京城日報社代理部
取次販賣所 大阪屋號 巖松堂 日韓書房

大正石粉株式會社製品 工業用並消毒用石灰 傳染病豫防公衆衛生ノ爲特別安價販賣 特約一手販賣店 石炭商 京城義州通一丁目九一 電話八二五番 近藤謙助商店

宮內省御用達 千葉縣銚子港 銚子醬油株式會社釀造



ヒゲタ醬油 代理店 京城明治町二丁目 櫻正宗 愛宕元 山邑京城支店 電話長八四九番・二四五四番 振替貯金口座京城七七五番

資本金 貳千貳百七拾萬圓 積立金 壹千六百貳拾萬圓 總預金 參億五千萬圓
株式會社第一銀行京城支店 京城本町一丁目 振替貯金京城一一番 電話二二一七番二八八五番
頭取 佐々木勇之助 支配人 竹村利三郎

…受け谷擬とも時々大延滯を來し居れり（倫敦電報）

私所の保存は對西伯利若しくは滿蒙除外以上の大問題にて至大の案なりと稱するも…

陸軍側の硬化

…東問題は日支協約二十三條に基…き山東…

…事官の支那行きとなり同參事官…は青島を治め山東一帶を極めて…東の現狀に至りては満國時代の…に應急的施設をなせるのみならず神社を祀りたるなど恐か今日…

總督府の新人
内地から來る四局長
赤池内務、西村殖産、柴田學務、野口警務の人物評

總督府新官制の發布と同時に各新局長の任命發表を見た、顔觸れは何れも二十日朝刊所報の通りであるが、中内地から榮轉して來る赤池内務、西村殖産、柴田學務、野口警務の四局長について聞く處を記すと

圓滿な才子肌
素封家に生れた美少年
新内務局長の赤池濃氏
『横田高等法院判事談』

新内務局長赤池濃氏と同郷同學の人なる高等法院横田判事は語る『赤池君は私と同郷の長野縣の科郡の出身です山を隔てゝゐるので少年時代の事は知りませんが生家は素封家の樣です高等學校時代に知己となり大學時代にはよく顔を合せました卅五年に**獨法科を**出ると間もなく内務省に入つて參事官となり其後兵庫縣から内務部長をやつて又内務省に戻り永らく監察官を勤めて令名があつた其後靜岡縣知事に榮轉したが自分は最近に會つたのは―左樣確か大正六年だつたと思ふ、同君が支那方面視察の途次入城した時久濶を敘し合つたものでやる事は總て敏捷で先づ才子肌、目から鼻へ拔ける式の人です朝鮮に來た當時は恰度**洋行歸り**の事とて素晴らしいハイカラでした元から美男子で殊に高等學校時代には有名な美少年でしたアハヽヽ、夫は兎も角實際氣持のよい人で頭も善し敏腕の士ですから水野新總監の下で朝鮮の内政の爲に充分の手腕を擧げる事でせう』

略歴 君は長野縣平民赤池七右衛門の長男にして明治十二年一月廿一日を以て生る同卅五年東京帝國大學法科を卒業し同年高等文官試驗に合格同卅七年五月内務屬に任ぜられ翌卅八年二月福島縣事務官兼福島縣參事官兵庫滋賀愛知各縣事務官に歴任し大正二年六月内務書記官に任ぜられ地方局府縣課長兼拓殖課長内務監察官兼内務省參事官等を經て同七年五月靜岡縣知事に轉じて現在に及べり夫人は五百枝京都府士族河原徳立氏の二女にて明治十七年一月生家族は長女和子（明三九、九生）長男健（同四二、六生）二女貞子（同四四、一一生）三女裕子（大五、一〇生）あり

私學出の行政官
議會で散々揉れて來た
新殖産局長西村保吉氏
『關屋前學務局長談』

西村新殖産局長に就て關屋學務局長は語る『西村君とは明治卅二年頃内務省地方局の屬官時代に机を並べてゐましたが同君は私立學校出身ですが高等**文官試驗**に合格せられました永らく屬官をやつてゐられたので吏務に通じてゐたから自分達は色々と示敎を得ました川崎卓吉氏の北海道の長官時代に土木部長として新しい畫策に努められたし政府委員として議會で揉まれてゐる上に頭腦明晰敏腕の士ですから朝鮮の行政官としては適材でせう殊に**人格高潔**な點では我々は常に敬服してゐました私が最後に逢つたのは確三四年前で愛知縣内務部長時代だと覺へてゐます其から島根埼玉の知事を歴任されて今度朝鮮に榮轉せられた譯です』

略歴 君は愛媛縣士族亡西村景信の長男にして慶應元年六月廿一日を以て生れ明治十七年九月家督を相續す同卅一年高等文官試驗に合格し同卅六年七月宮城縣事務官に任じ爾來山口縣參事官同事務官長野縣北海道廳各事務官廣島愛知の内務部長を經て大正五年島根縣知事に榮轉し今回現職に榮轉したるなり夫人は愛媛縣平民增田尙斗氏の長女慶應二年三月生家族は惠美（明二五、二生）は北海道士族高橋彼治に二女香香（同二七、七生）は京都府澤田實に嫁し弟恭吉（同一八、三生）は分家せり

經歴の上からも適任
學務に深い趣味を持つ
學務局長柴田善三郎氏
『栗高等官談』

新學務局長柴田君に就ては多くを知らないが明治三十七年に帝大法科を卒業後大學院に學び和歌山、愛媛兩縣の事務官から宮城縣、大阪府の内務部長の經歴を持つて居るので今回學務局長として新任を見るに至つたのは經歴から云つても資格から論じても適任である、尙同君は文部省に居たこともあり學務には深い趣味と大なる抱負を持つて居るから學務局長として充分の働きを見せるであらう

略歴 靜岡縣人佐藤善六氏の三男にして明治十年十一月十四日を以て生れ同卅七年一月先代佐平の養子となる●同年七月東京帝國大學法科大學を卒業し更に大學院に入り翌年文官高等試驗に合格し和歌山縣事務官に任じ次で愛媛縣事務官に轉じ大正二年六月宮城縣内務部長に任じ後大阪府内務部長となれり家族は妻いよ（三二）男和夫（一二）長女淑子（一四）次男達夫（九）あり

柔かい感じの人
學生時代は非常な勉強家
新警務局長野口淳吉氏
『殖産銀行理事櫻井小一氏談』

野口君と僕とは高等學校時代から大學を出るまで前後七年間學友として交際して居りましたが卒業後お互に顔を合せる機會がありません、高等學校時代は金澤の四高で野口君は獨法に僕は英法に居りましたが同じ級でしたから可成り懇意にして居りました、性質は**極て溫厚**で非常に勉強家でした、そして寡默な方でしたが人に接しては決して無愛想でなく先づ柔かい觸りを持つた人と云へませう、今は如何變つて居るか知れませんが身體はあまり肥滿した方でなく身長が馬鹿に高い方でした**運動など**はさほど好まなかつたやうです、趣味は學生時代には殆んど無かつたのですが地位や境遇に依つて趣味も變化することがありますから近來或は何かの趣味が出來たかも知れません、兎に角野口君は人物から云つても經歴から云つても新警務局長として適任だと思ひます。

十四日を以て生れ同卅九年東京帝國大學法科大學を卒業、翌年文官高等試驗に合格、同年栃木縣警視に任じ同四十一年二月福井縣事務官に轉じ爾來秋田縣警察部長、北海道拓殖部長、新潟、山口各縣警察部長に歴任し現に警視廳警務部長の要職に在りたるが今回警務局長に榮轉せるものなり家族は妻ひろ（三三）男務（三）長女俊子（一〇）次女淳子（八）四女信子（四）あり

虎疫が
唐津から仁川へ
汽船で來た旅客

忠淸南道唐津郡汚川邑内吳多山次郎（四七）は十九日朝鄕浦丸にて仁川に上陸花町旅館に投宿したるが間もなく吐瀉を催し下痢を催す事數回に及び虎疫の疑ひありし由筋にては直ちに寺町病院に收容目下警使檢査中なりと

安東虎疫猖獗
新患者續出

安東縣にては十九日虎疫患者十四名發生し内一名は日本人なるが益々蔓延の兆あり

何處迄も獻身的に
事業の爲めに奔走する
健氣な平岡高崎兩女史
朝鮮貴族と交歡
根本から日鮮同化の實を擧げたい

浦尾旅館に投宿した平岡高知子宮崎さゆり兩女史は二十日朝は午前五時半に起床して身仕舞も早々に朝餉を濟ますと自動車で各所を訪問に出かけた事業の爲めには如何にも獻身的に熱心なものである平岡女史は我社から推薦した案内者と同伴して朝鮮貴族とも交歡して**隔意ない**事業上の打合せをする豫定で今度の旅行にも歸途には是非朝鮮の家庭の子女を同伴して歸東したいと言つて居る幼少の頃から内地の空氣を吸はせて根本から日鮮同化の實を擧げたい希望だとさうな向學會は既報の如き有力者が顧問になつて居る計りでなく會計監督は東京市長田尻稻次郎氏や尤も明來侯子なども熱心なる贊成者で將來は**大規模の**國家的事業とする計畫であるさうだ今回の第一期事業としては基金五萬圓を以て鮮支人の家庭的寄宿舍を建設し直に鮮人留學生其他鮮人の子弟少壯を問はず收容する目的にて基金は集まるに從つて本部會計監督宛に送金して居る途中の遊說中では京阪方面が最も成績が良かつたさうで汽車や船中でも向學會の**趣旨に贊**して寄附を込んだ紳士も少くなかつた相で平岡女史もあつたがある、宮崎さゆり女史は床次内相の旨を承けて平岡女史の事業を輔ける外に朝鮮婦人の研究鮮滿兩地の家庭狀況を視察する目的を以て渡鮮したのである、生地は福島縣で二十七歲迄ら計りのお藥と美貌とを以て東京で名を知られた**婦人記者**の先覺であり、讀賣新聞次は博文館編輯で淑女界等に筆を執り現に中央新聞に在つて婦人問題に熱心に鬪して居る才媛である兩女史共に志の强固な思想の健實な當代稀に見るの女流である何とかして其事業を完成させたいものである。

馬も廢官さ
朝鮮を去る鈴木前長官
十五年の懷舊を語る 出發は多分一週間後

遼陽の夏も老いて透冷の秋氣内岳の巓に遍ねからんとする時前度支部長官鈴木穆氏は總督府官制改正と共に冠を挂けて近く東京へ歸らんとする氏は例の元氣な顔貌に笑を湛へて語る『永い間……イヤ全く永い間朝鮮の地になぢんで各方面の世話になつた、明治三十七年九月始めて朝鮮へ足を入れて恰度**滿十五年**になるが當時韓國政府が外交顧問と財政顧問とを置く事になり私は財政顧問附となつたのが朝鮮で抑々の役人生活の始めで今日迄財政の事に關係して來た、疲弊した財政が今日迄になるには種々の骨折はあつたが其處には**又興味も**あつた『財政の整理は整理に非ずして建設なり』と云ふ事を云つて居る人もあるが建設は苦心と同情を要するものだ』氏が歸東後日本銀行に入るべしとの噂に就ては『何處からそんな說が出たか知れないが左樣な賢明な**立廻りも**出來ないじやないか、馬は好きで四十一年頃からやつて居るが今の乘馬も樂の退城と共に廢官サ、左樣當地引揚は一週間の後だと思ふ』

判決理由
米宣教師事件

（二）高等法院に於ける辯護人大久保雅彥上告追加理由書第一點は原判決は事實認定の部に於て被告は李輔植金泰運李仁濟等が朝鮮獨立運動に參加したる爲警察官憲より保安法違反の犯人として嚴密に其所在を搜査せられ居ることを認識しながら同人等の依賴を受けて被告の自宅内に潛伏せしめ之を藏匿したるものなりと判示せられたり然るに該認定事實に對する證據の說示を觀るに該認定事實に合するに足るべきものゝ無く以下各證據に付て之れを論ぜんとす（一）被告の原審公廷に於ける供述は李輔植等五名は前泊當時何れも怖れを抱き居りし樣子を認めたるも同人等が獨立運動に參加したることは全く之を知らず又同人等が特に犯人として搜査せられ居りたることは全く之を知らずと云ふに在りて該供述は却て被告に犯意無かりしことを證するものなり（二）原判決は第一審公判始末書中被告は李輔植等五名が被告方に宿泊を求めに來りし當時別に理由は明言せざりしも被告は同人等が今回の朝鮮獨立運動に參加したる爲め警察官憲より逮捕せらるゝ恐れあることを察し特別の保護を加へざるも泊るならば泊れと申し消め置りたる旨の供述記載を援用せり是第一審公判始末書中の『問要するに被告の供述は李輔植等五名の學生が今回の朝鮮獨立運動に參加したる爲め警察官憲より逮捕せらるゝ恐ある事を察し特別の保護は加へざるも泊るならば勝手に泊れと申し消めて置つたとの旨になるのか答左樣であります』の一節を援用したるものなるべし然れども此問は必竟共問答以前に數回裁判官と被告間に於て爲されたる問答に於て被告の答へたる要旨を約言したるものなることは『問要するに被告の供述は』の文辭により明白なり然るに以前の問答を見るに被告は李輔植等五名が獨立運動に參加したることを察知したる旨の答を爲したることなし然らば該問答は以前に爲されたる被告の答を誤解したるに出でたるものにして被告も問者の誤解を了解せずして輕々答へ爲したるものなること疑を容れず之れを以て證據に採用するは不法なり（三）檢事の李輔植第一回訊問中自分等は夜分にも外出せず何人は無論自分が外出せば警察官に取押へらるゝ危險あることは承知し居りたる旨供述記載あるも其所謂『承知し居りたる』の原因不明にして該證言は價値なきのみならず假に被告は承知し居りたるものとするも李輔植が何の爲めに警察官に取押へらるゝ危險ありやに付ての理由を知らざるものに付犯罪を構成するものに非ず（四）同吉鎭京訊問調書中『前略牟牧師方に行き消めてくれと申したるに同人は自分等が警察官憲より逮捕せんとせられ居れるを知り居れるより宿泊を承諾し』云々との供述記載あるも其所謂牟牧師とは被告を指稱するものなりや否や明ならず尙前項同樣の理由により被告の犯罪の證據たるべき價値なし

北滿も虎疫猖獗
傳家甸最も甚し
支那人の死亡千を超ゆ

廿日北滿に達したる情報に依れば哈爾賓目下のコレラ流行は未だ衰へず殊に傳家甸にして附屬地は其數少なからず停車場に於ては既に支那人三名斃死す我領事館の調査に依れば十二日迄の罹病者は日本人十一名支那人二千三百名内死亡日本人六名支那人千三名なり以上の外露國人に若干名あるも露支側の防疫設備は甚だ不備にして到底之が防止するに足らず又在留日本人間も同樣の狀態にあるも軍隊側は既に嚴重に豫防法を實施せられ居れり此程日露支の委員及び代表者は防疫協議會を開き各國領事館防疫施設の件を議決し日本民會は防疫費一萬圓を支出する事となれり日本民會長は佐藤領事にして副委員長一名委員八名より組織さる

繰綿工場燒く

十八日午後八時半頃鎭南浦新非繰綿工場より出火各消防隊驅付けたる時恰も干潮なりし爲め消防の水無く且つ水道は斷水中なりしを以て各消防の苦心一方ならず加ふるに建物宏大なるため如何とも手のつけやうなく見る間に三棟灰燼に歸したるが火は機械場より發したるものらしきも出火原因及び損害未だ詳ならず（鎭南浦）

湯崗子の火事
溫泉宿燒失

二十日午前一時河湯崗子溫泉の淸林館より火を發し遂に同家は全燒したるが原因は炊事場より失火せしものゝ如く水の手無き爲め遂に大事に及び入浴客尠からざりし爲め混雜を呈せり（奉天特電）

避暑地投票
第二十九回發表

七三七七票	儒城
七一四五票	水安堡
六三八八票	金剛山
四九五二票	東萊
四五六四票	海雲臺
四二四九票	馬山
三七二五票	元山
二四三九票	溫陽
二八九三票	釋王寺
二二七四票	黃海 正方山
一九八七票	仁川
七百十四票	俗離山
七百〇四	水原
三百七十二	扶餘
二百八十八	冠嶽山
二百六十五	統營
百四十六	寧邊
百〇五	木浦

（百票以下）釜山郡五山里公園、光州里、內藏山、劍拂浪、公州、光州、平壤、逍遙山、九味浦、夢金浦、慶北、陽、松島、南原、荷津、全州、慶北周王山、稍道、藥水湯、開城、際夫山、平康、古群山、鷄龍山、井邑七寶山、同泰淵、成北朱乙、龍岩浦

又た酒が上る
一升で五錢

諸物價が天井知らずに騰貴して行くので我々の生活は何處迄脅威されるか分らない米價も五十錢から更に一錢の値上を十九日から實行されて二升が缺けてゐる次第である酒は過般も値上が決議され來る九月一日から實行される相である大樽一丁で二圓小樽で一圓瓶詰一箱で一圓の値上をする從つて小賣相場一升が五錢上げて一等一圓六十錢と云ふ値段になつたのである値上理由を聞くと米價騰貴と云ふばかりでなく包裝資料とか種々の費用が昂騰した結果止むを得ず値上を斷行したのだと云ふ

各地最高溫度
（二十日午後二時測定）

▲木浦 八十七度四分、晴天
▲淸津 八十度三分
▲大田 八十七度、快晴
▲群山 九十度、晴天無風
▲鳥致院 九十度、西南の微風
▲鎭南浦 晴天 九十度八分、快晴
▲淸州 九十一度、無風晴天
▲春川 九十四度一分
▲馬山 八十二度朝、夕減切り涼し
▲大邱 八十三度五分、晴天
▲元山 八十一度七分、東風、晴天
▲奉天 八十八度九分、風涼し

牛肉が安く爲る
旱魃で牛を手放す者が多い

此頃京城附近では牛肉が安くなつたと云ふ京城でも幾分下落したらしい諸物價は騰貴する一方である現在、牛肉の價が下るのは旱魃の結果農家が生牛を手放すからだと云ふ京畿道畜産係では『農家の閑になつた時期なので弗々生牛が市場に見はるので出た結果だと云ふ噂は聞いてゐるが果して眞實か如何か分かりませんが目下各郡に照會中です京城府の屠獸場では屠牛數は平均五十頭位です近の屠牛數は平常に較べて幾分餘計に屠して居るますが大した増加ではありません』市内の黑川牛肉店では『牛の値段は別に下つてゐませんが地方では幾分か下つてゐるようですが京城では牛一頭で三四十圓安いと云ふだけです從つて牛肉としては一斤四十錢五十錢六十錢と云ふ處です』兎も角幾分か旱魃の爲め牛が多少手放されてゐるのは事實らしいが牛肉の價は下つてゐない

妻を刺し殺す

慶北星州郡面學洞金庚述（二八）は九歲の當時十四歲の居村李鳳己を妻に娶り爾來同棲し居れるも其の容貌醜き處より妻李は常に夫を嫌ひたるため家庭圓滿ならず去る九日午前二時頃も金は妻より强たか肱鐵を喰はされて赫つと怒り一層の事殺して了はんと茲に殺意を決し自宅炊事場よりの出刃を持ち來り妻の熟睡せる隙ひ右頸部及び右腹部を突き刺して即死せしめしため大邱地方法院の公判に附せらる

歌詩揮毫

小野利敎氏は十九日入城浦尾旅館に滯在中なるが氏は黑田淸綱の門に學びたる歌人にして而も歌書をよくし書は直入に學び後に至つて南北兩派の長所を採つて氏獨得の歌書を揮毫し京城中希望者には揮毫の求に應ずる由

島津氏の講演

米國シカゴ市日本人青年會幹事島津仰氏は二十一日午後四時半より長谷川町銀行集會所に於て京城青年會主催の下に『現今の米國』と題する特別講演を爲す由にて一般の來聽を歡迎すと

運動界

慶應又敗る
大連の野球戰

慶應對實業の一回戰は十七日午後三時十五分より西公園運動場に於て開かれ滿倶に敗れたる慶應は實業との第一回戰に於いて必勝を期したが慶應軍依然として振はず一二機會ありしも遂に得點なく第一回に一點を納めたるのみ終に三A對一にて復も敗れたり（大連）

慶應 原 桐 高 高 森 新田 野 小 濱 鈴 永 竹中
應 六七八二一八一九九五三四
打數二四、三振三、四球四、安打一、犧牲一、盜壘三、失策三、位置は第六回より代る三賀打高須
實業 中田 小島 中田 藤 太 石 本 勝 間 清 田 足立
實 七六三五八一二四九
打數二三、三振六、四球八、安打四、盜壘一、犧牲二、失策二
審判 大門（球）岸（壘）
時間 三時十五分―五時五十分

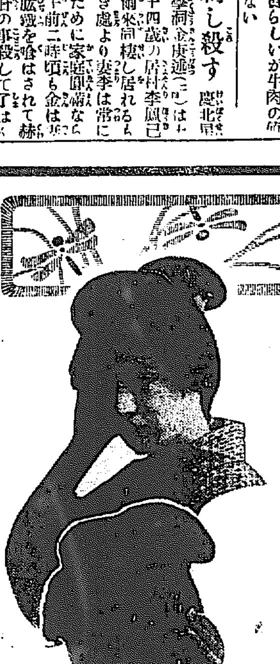
慶應軍捷つ
對工科學堂

慶應對工科學堂野球第二回戰は十八日午後決行せられ十對零にて工科敗る（大連特電）

藝…荒木又右衞門

演…廿二日から大正館に上場の『荒木又右衞門一代記』は日活會社が苦心の努力を拂へる大寫眞にして又右衞門の幼時より薙刀院流槍術の奥儀を極め更に柳生流の指傳を受け諸國武者修行に上り伊賀越に於て弟の仇を報ずる有名なる三十六番斬の壯烈なる場面に至るまで觀者をして手に汗を握らしむる大活劇にして上場俳優は松之助、扇太郎の一座なり尙同館にては特別興行なるに拘はらず觀客の愛顧に酬ゆる爲め入場料に特に普通料金とすべしと

▲浪花座 二回目變り藝題『星月夜』五場、喜劇は一行の最も得意とする…にして各地に於て好評を博したる…



レート白粉

お氣に召す
薄化粧
ほんのりと浮く白さ 夕月のやう美くしい

◇お氣に召した… 浴衣を着て、お氣に入る程の、湯上りのお化粧が出來た程、嬉しく凉しいものはムいますまい。實際夏の夕、湯上りの淡化粧、それが淸楚で、お美しいのを見る程、快よいものはムいません。

◇ほんとに樂で… 瀟洒と美くしい淡化粧の出來るのは、レート水白粉でムいます。普通の白粉は、水と白粉との混和が惡かつたり、不純物が沈澱したりして居るものですが、レート水白粉は製法からして

◇違つて居ます… ので少しもそんな憂ひはなく、湯上りにお附けになつて、自然にポーツと白さが浮き出す美くしさは、雨御の夕月のやうな淸さ美くしさで、御自分…に違ひはありません其上

◇お上品なのが… レートの特長で、他の品では決して眞似も出來ぬ美くしさでムいます。尙お手輕に落附のよいお化粧を爲さらうと思へば、クレームレートを下地に引いてレート粉白粉で粉刷きをすれば、思ふやう淸爽したお化粧が出來、汗を押へていつ迄も心地よろしうムいます。

本舗 東京・平尾贊平商店・大阪

みだれ咲き

第百廿四回

島山碧波作　森田久書

妖婦のお蓮は、情夫井口健吉の腑に落ちぬ態度に砂からず疲れたのであつた、山中子爵の夫人が名を艶子と呼び、公卿華族藤村侯爵の娘と知つた時の様子心を鎮めて千々の思ひに惱んで居たお蓮は。

『どうも様子が變だ』

彼の女の鋭敏な神經は稲妻のやうに閃いた、と同時に自分が身も心も許して居る井口に對して忌まはしい想像が起つた、けれどもそんな事は色にも出さぬ彼れは、殊更に冷靜を裝つて井口の云ふがまゝになつて居た。

『あら夫では別府まで行つて見るのですか』

『ウム行つて見やうと思ふ、何んならお前も行かぬかね』

井口が心にも無いことを口にして居るのを知るお蓮は。

『馬鹿にして居るッ』

心の裡では不快の念を抱いたが、態と素知らぬ振りをして微笑を浮かべ。

『夫では今夜の夜行で歸京しませう、是から廣島へ行つて居て急行へ乗つて行つたら一番時間の都合が好いでせう』

彼の女は井口の心を見く氣で探りの槍を入れて見た。

『何もそんなに急くことは無からう、久し振りだから今夜はゆつくり泊つて行きねエ』

お蓮の歡心を買はうとするのか、夫とも心からの言葉か、井口はお蓮の纎細な手を骨も碎けよと握りしめた。

『あら誰れか來ると不可ないことよ』

執られた手を振り拂はうともせぬお蓮は、井口の面へ媚笑を投げた。

『兎角疲れても居るだらうから今夜は泊つて行きなさい』

井口は何故か直に出發しやうとするお蓮を執念強く留めた。

『さうだわね、久し振りで泊つて行きませうかね』と、云つて拝味の籠つた笑を送つたお蓮は。

『だけれども妾が出掛けて來て邪魔でせう』

日頃より嫉妬深いお蓮の双眼は火のやうに輝いて居た、燃ゆるが如き感情の火が烈々として何物をも燒盡さうとして居る。

『何を云つて居るんだ、相變らず例の病氣が出たね』

流石は悪黨仲間で女蕩しの名人と云はれて居るだけあつて、井口の言葉は蜜のやうに甘くて相手に滿足を與へさうであつた。

『ホヽヽヽ』

彼の女は心の裡で男の行動に大疑問を抱いて居るが、井口のためには身も心も投げ出して斯んな悪事を働くやうになつたのであるから、何時の間にか鐵のやうな心が銷と鈍つてしまうのであつた。

『笑ひごつちや無いよ、一體何時まで僕の心を疑ふのだ、古い川柳に女房の妬くほど亭主持てもせずと云ふのがあるぜ』

何時の間にか二人は戀の口説に夢のやうな時を送つて居た。

『お風呂の加減が宜しうございますからどうぞお召下さい』

襖の外から風呂の用意が出來たのを知らせに來ると、顔見合せてニッコと笑つたお蓮が。

『直に入りますわ』

二人は旅舍の浴衣に著替て浴室へ入つて行つた、嚴島の夜は波の囁きと松の聲に更けた、翌朝暗い内に眼を醒ましたお蓮は。

『ねエ貴郎、夫れでは一と足先に歸京しますから別府へ行つたら旨くやつて來て下さいね』

『おうもう起たのか、夫は如才無くやつて來るが、兎に角もつと悠つくりして行つたら宜いだらう』

『でも上り一番には時間がありませんから出掛ますわ』

朝食もソコ〳〵に濟ませたお蓮は、宮島驛まで見送らうと云ふ井口の言葉を遮り。

『ナニ宜いわよ』と一人で出發した、が彼の女は宮島驛へ著いても東京行きの切符を求めずに別府行きの二等切符を買つた。

人蔘エキス
京城本町壹　電話一四八〇・一八七〇番
津村兄弟商會

涼しい夏菓子

客と座談の間に主婦のお手製で

夏の暑さは降つても照つても人の食慾は頓に減少し胃の消化力なども非常に弱くなつてゐますから斯う云ふ夏に一寸客人と對談する間にも容易く家庭で製し得らるゝ氣の利いた夏菓子の二三種を掲げます。

一、チョコレートゼリー、ホワイトソース、製法はざつと十人前としてチョコレート一本半を摺り砂糖大匙に一杯水二勺弱を火にかけて煮ます、別にコンフラワー一杯牛砂糖三杯牛乳三合を混じこれに前のチョコレートを入れて復た火にかけて型に入れて冷す

冷すのは 金盥などの中に入れ周圍に氷を入れ風通しのよき處に置く。白ソースはコンプラワー中匙に一杯とメリケン粉をその三分の一砂糖大匙に二杯牛乳八勺を煮て下す時ワニラ(香料)を二三滴入れる、之を型より出して切りたる上に盛つて出します、二、メロンウオターアイス、製法は、まくわ瓜三本を皮をむきすり下して裏ごし水を三合砂糖二杯牛玉子二つ(白味一つ)を混ぜて

型に入れ 周圍に水と鹽をまぶして凝結る迄廻轉します。三、アイスクリーム製法は卵三個牛乳二合砂糖四杯レモン(香料)二三滴の割合でありますがこのアイスクリーム製造器は近來木製で丈夫に手輕なのが出來て、何處の家でも一寸手輕に製し得るやうになりました。殷も小さいのが五六人分で二圓二十錢位から

五圓拾圓 位まであります が五圓位のは最も普通の家庭によろしく餘り小さいのは却つて不經濟であります。又之等の涼しい夏菓子やお料理も夏は殊に其盛られた器に依て非常に美味に感じられるものであります。

前のチョコレートゼリーは平皿に盛つて出すのでチョコレートの紫がゝつた色と白ソースとの調和から薄鶸色か薄綠色の無地又は白で紋丈に模様のあるのなどもよいでせう、アイスクリームは、メロンウオーターアイスと半々に盛ると

美くしい ので、近頃は硝子器が非常に米地邊から輸入されたり內地製でも切子型や又透し模樣などの氣の利いたのが創安でありますから一家の主婦は平素の心掛けで夏は憖うした涼し氣な食器に冷たいお菓子をば一寸客人の顔を見てから手輕に混合した材料を型に入れて冷して置き客と談話の間に來出上つてる様にしたいものです

今秋向各種見本到着　京城大和町　電一四六二

白鈴詩社詠草

赤部光三

みぎひだり青葉明るくせまり來る山峡の空ふかく晴れたり

谿こもり鳴る水の音のさびしきに夜汽車はわたる山峡の鐵橋

海野さちを

カンテラに映ゆるも爽しや切花の爽竹桃の薄紅のいろ

山路行けばなりをりい照る木洩日にあちはなるが岩の上の苔

北　弓夫

筑音の谿にこだましこの深き林の中に騎兵惑れり(演習の日)

谿々に銃音こだまし向つ峯なほかに鳥の舞ひ立つが見ゆ

諸詩閒紅夢鳥

雨に夜はいたく更けたり灯し火に羽蟻こぞだく集ひけるかも

かそやかに朝の日浴びて白楊の樹の天に立ち居り綠くはしく

草野露彦

すゞかけの濱葉に朝の日の光り一線明るく七面鳥の啼く

わが越ゆる丘の蜩なき止めば草生を離るゝ月のありけり

國田莫韻

夕淺みこの砂濱を行きゆけば砂のぬくみに心さびしも

ゆくりなく始業のラッパ鳴りひゞきわれはけだるき足を運ぶも

柏葉

アカシヤの林過してラッケトの響心持よくひゞきて聞ゆ

山原蒋朗

月見草ほのかに咲ける河原のうへに匂へる新月のいろ

くろぐろと煙吐きつゝ森れてゆく片山かげを走る汽車

新刊紹介

▲幼女界(四の九)　美しき畫木附錄にお嬢さまの切拔き畫あり(十五錢東京々橋區本八丁堀二の一正光社)　▲幼年界(四の九)　綺麗な繪本に附錄に蝶の色々あり(十五錢　東京々橋區本八丁堀二の一正光社)

讀者の領分

軍司令部に御尋ね致します私は若し本年入營すべき者ならば現居住地にて簡閲點呼を受くべき者なれば現居住地兵營卽ち龍山にて檢査受け度くありましたから本年三月中に居住地簡閲點呼參會願を聯隊區司令官宛にて郷里の村役場に送附しました處、村役場の兵事係より『本年は點呼無之候間書類は一應返却致し候』との御返附にて返戻致されたるに、如何なる間違にや來る十八日點呼に參會せよと聯隊區司令部よりの點呼令狀に接しましたが、前記役場の御返信を信用して參會せんでも差支へ無きや否や御高示を願ひます(御承生)▲私の子供は今年九歳になるにも不拘毎夜就寢小便するために閉口して居ますから夜分は多く湯茶等の水類に關するものは飲まぬ様にして居ますが其でも矢張寢小便をなします何か寢小便の止る藥はありませんか御存じの御方は御教へを願ひます(西大門生)▲私の宅には此頃貴紙夕刊紙上に連載してある小說「日本名刀傳」中に五郎正宗晩年の作にて入道正宗の小刀がありますが吾々貧乏人の内に置のは余りものすぎた名刀ですから御望みの方がありますれば相當の値段で讓りたいのですが買つて被下方はありませんか(貧乏生)▲西大門無學生君へ知らす朝鮮官報或は內地官報の閲覽は府廳乃至郡廳に出頭になれば見せて吳れるでせう(エチ、アイ生)▲諸物價騰貴の際であるから相當位の家賃價上は先つ仕方はないが本町邊から南門邊は普通でさへ高價の家賃を仕拂ふて行つゝあるところ今回三割四割と云ふ貸に法外なる價上を迫まられ聽じなければ出て行かれとの仕打にて横暴極まれる家主連を其筋では何んとか此際取締に工夫のなきものの哉至急取調の上之等の徒に對し充分の鐵槌を加へられん事を其筋に向つて希望するものなり(本町借家人總代)▲乖二面の末にお答へす、「ゲンノンショコ」草取引は京城府櫻井町二ノ一八九川瀬一五郎殿へ御照会あれ(親友生)

●風の經過

[illegible]

ミツワ石鹸

○ミツワ石鹸　大形 定價一個 金二十五錢　中形 定價一個 金十八錢　小形 定價一個 金十二錢　極小形 定價一個 金六錢

ミツワの商標を附せる製品は、品質純良にして、代表的のものたることは定評あり、ミツワ石鹸は實に國産石鹸を代表するものにして、其品質の優良無比なること、殊に皮膚毛髪の美的嗜好に差異ある本邦人の化粧用石鹸として、其目的に適すべきものは、此ミツワ石鹸を措いて、他に之を求むること難し、毫も刺戟を感ずる虞なく、細かき泡沫を生じ適度の溶解性を備へ、能く水にも溶解して、而も浴室に用ひて、絶對に半途に溶け崩るゝ憂なき等、本品の特徴にして、浴室化粧用として衛生經濟に合致せる理想的實用品なり。

○特製ミツワ石鹸　赤箱 定價一個 金四十錢

ミツワ石鹸と品質毫も異なることなく優良至純にして、皮脂の分泌最多く而も粗糙なる本邦人の皮膚及漆黒を尊ぶ毛髪の洗滌に適し、殊に特殊の芳香を加味せるが故に、爽快の感は得られ、又半途に溶け崩るゝ憂なきを以て、浴室化粧用たるべきものなり、包裝に赤箱を用ふるが爲、普通赤箱と稱せられて、盛に推賞せらるゝ完全なる優良石鹸なり。

○凉製ミツワ芳香石鹸　二十五番 金二十五錢　二十番 金二十錢　百番 金貳圓

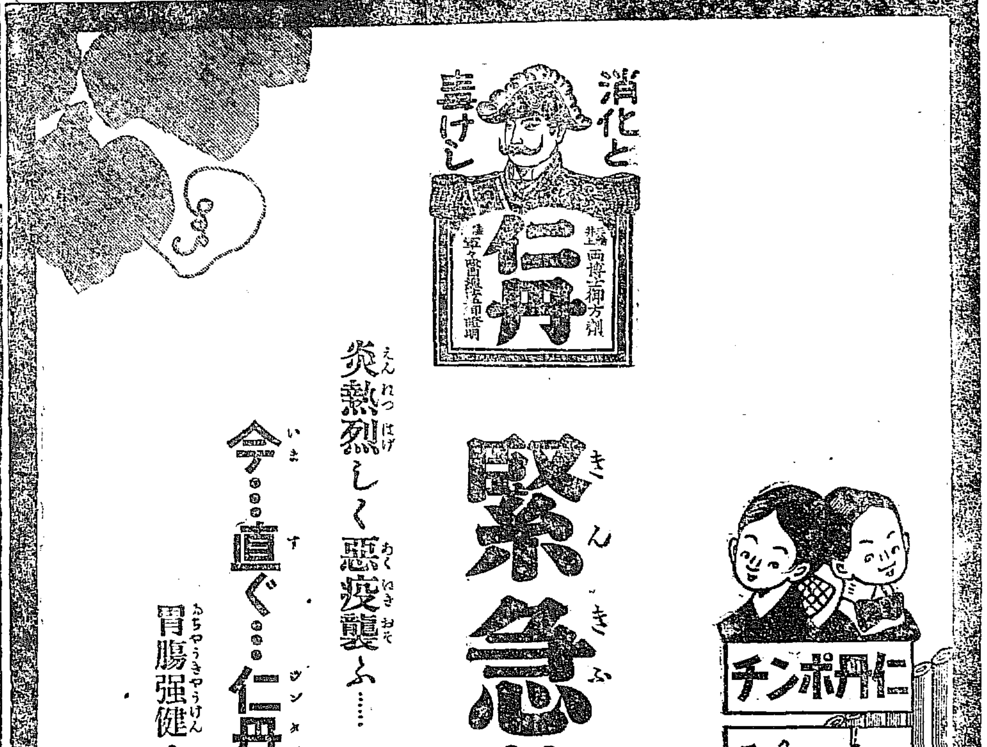
ミツワ石鹸及特製ミツワ石鹸(赤箱)の品質純良にして、單に化學上の純正石鹸たるのみならず、化粧用石鹸として最良好適なるが如く、本品も亦同じく純正無比の品質を有せり、然して其特徴とする所は、煉製品なるを以て溶解頗る適にして、化粧用に最も適合し、殊に郁烈なる芳香料を加味せるを以て、芳氣馥郁として使用後も餘香殘存して心氣清爽たることを得るものなり、最新の學理と實驗とを基礎として提供せる最も完全なる煉製芳香石鹸なり。

○ミツワ洗濯石鹸　大形 定價一個 金十五錢　小形 定價一個 金八錢

洗濯石鹸と云へば、多くは粗製品にして、本品は洗濯石鹸は粗製品なりと云ふ誤解を去るべく、眞に洗濯の目的に適するもの僅少なり、且つ實用經濟に合して、洗濯の意義に適するものを目的として、提供されたるものにして、綿布毛織物を洗ひ絹布を濯ぐも、毫も地質を傷むることなく、能く汚垢を落して、雪白ならしむると共に、染色益々鮮明ならしむるものにして、而も從來の如く揉み擦つて洗ふ必要なく、簡易なる特殊のミツワ洗濯法に依りて、手數と時間を省略し得るものにして、一般の家庭用及工場用として最も理想的の洗濯石鹸なり。

ミツワ家庭藥　○　肝油ドロップス

東京市日本橋區橘町四丁目　振替東京七一〇番　丸見屋商店　電話浪花三〇四五〇番・營業部四八四・四九番



緊急!!

炎熱烈しく惡疫襲ふ……

今……直ぐ……仁丹召せ

胃腸強健・殺菌力絶大

金言　一丈を說かんより一尺を悟れ　(古諺)

共同汽船出帆

阿波共同汽船株式會社

▲大連直行　第十一共同丸　八月廿三日正午出帆
▲青島直行　第十共同丸　八月廿一日正午出帆
▲秦皇島行　第十三共同丸　八月　日午後出帆

朝鮮鐵道主要驛にて荷客連絡取扱大連にて青島行定期船接續

仁川代理店　野口商會
元山代理店　田口回漕店
京城取次店　河村運送店

朝鮮のにせ物

京城、龍山、仁川、釜山各地ににせドラッグあり注意を乞ふ

龍山練兵場前　有田ドラッグ支店
釜山大廳町三丁目　有田ドラッグ支店
元山本町三丁目　支店
平壤橫町十二番地　支店
仁川宮町二丁目　支店
大連岩代町　支店

京城黄金町三丁目電車通　有田ドラッグ
京城南大門外停車場通　有田ドラッグ總本部

大阪有田

にせ物あり

百圓進呈　大阪市　有田ドラッグ

りん病　はいどく

大阪市東區安土町　醫科大學病院

最新刊

提唱碧巖錄
世界大戰史
大阪屋號　京城本町一